

「柏崎市公共施設等総合管理計画」策定に向けた  
「公共施設」に関する市民アンケート結果

平成27年12月

柏崎市

## 目 次

|      |                                             |    |
|------|---------------------------------------------|----|
| 1    | 調査方法.....                                   | 1  |
| 2    | アンケートの分析結果.....                             | 2  |
| 3    | アンケート結果                                     |    |
| (1)  | 市民回答者の属性.....                               | 4  |
| (2)  | 公共施設の利用状況（全体）.....                          | 5  |
| ①    | コミュニティセンター.....                             | 6  |
| ②    | 庁舎・両町事務所.....                               | 7  |
| ③    | 文化・集会施設(アルフォーレ・産業文化会館など).....               | 8  |
| ④    | ごみ処理施設(クリーンセンター).....                       | 9  |
| ⑤    | スポーツ施設(小中学校の学校開放を含む。).....                  | 10 |
| ⑥    | 社会教育施設(市民プラザなど).....                        | 11 |
| ⑦    | 観光・保養施設(シーユース雷音・じよんのび村など).....              | 12 |
| ⑧    | 福祉・保険施設(元気館・総合福祉センターなど).....                | 13 |
| ⑨    | 図書館.....                                    | 14 |
| ⑩    | 博物館(ふるさと人物館・コレクションビレッジを含む。).....            | 15 |
| ⑪    | 公園(赤坂山公園・柏崎夢の森公園など).....                    | 16 |
| (3)  | 公共施設を利用しなかった理由.....                         | 17 |
| (4)  | 公共施設マネジメントの認知度.....                         | 18 |
| (5)  | 公共施設の更新に係る財政負担への関心度.....                    | 19 |
| (6)  | 長期目標の妥当性（今後 40 年間で約 2 割の施設総量(延床面積)を削減）..... | 20 |
| (7)  | 公共施設の廃止や統合に対する考え方.....                      | 21 |
| (8)  | 施設の廃止や統合を行う場合に考慮した方が良い点.....                | 22 |
| (9)  | 施設の建て替え時に廃止や統合を考えた方が良いと思う施設.....            | 23 |
| (10) | 優先的に管理運営・更新を行う必要がある施設.....                  | 24 |
| (11) | 公共施設に対する取組で重要であると思うもの.....                  | 25 |
| 4    | （参考）アンケート用紙.....                            | 26 |

## 1 調査方法

---

### (1) 調査の目的

「柏崎市公共施設等総合管理計画」の策定を行うに当たり、市民の皆様から公共施設の利用状況や公共施設に対する意識などを確認することを目的に実施しました。

### (2) 調査方法

|        |                                          |
|--------|------------------------------------------|
| 調査対象者  | 柏崎市に居住する18歳以上の市民3,000名<br>※住民基本台帳より無作為抽出 |
| 調査期間   | 平成27年5月15日（金）～6月15日（月）                   |
| 調査方法   | 郵送による配布・回収                               |
| 調査票配布数 | 3,000票（有効配布数2,990票）                      |
| 回収数    | 1,353票                                   |
| 回収率    | 45.2%（有効配布数に対する回収率の割合）                   |

## 2 アンケートの分析結果

---

### (1) 回答者の属性

ア 回答者の男女比率は、「女性」が53%と高い傾向にあります。

イ 年齢構成は、「60歳代」の割合が26%と最も高く、次に「50歳代」、「70歳以上」と続きます。「60歳代以上」の占める割合が45%超と高い傾向にあります。

ウ 居住地区(中学校区別)は、鏡が沖中学校区が13%と最も高く、次いで東中学校区、第一中学校区、第二中学校区、第三中学校区と続き、これらの地区で全体の62%を占めます。また、居住人数が少ない地区において「60歳代以上」の占める割合が比較的高い傾向にあります。

※回収率

20歳代27%、30歳代34%、40歳代39%、50歳代51%、60歳代55%、70歳代62%でした。年齢構成によりアンケートの配布数を按分していますので、配布数が少ない低年齢層の回答率が低くなっています。

### (2) 公共施設の利用状況

ア 公共施設全体の利用状況は、年に数回以上利用する(よく利用する)割合が最も高いのが「70歳代～」、次いで「60歳代」でした。施設が多くある第一中学校区、高柳中学校区で利用割合が高くなっています。

イ 年に数回以上利用する割合が5割を超えている施設は、庁舎・両町事務所と公園でした。これらの施設の利用状況は、幅広い年齢層に利用されています。庁舎・両町事務所では、高柳中学校区、西山中学校区で割合が高くなっています。公園では、第一中学校区で「30歳代」の利用が多くなっています。

ウ クリーンセンターの利用割合が高い地区は、施設に近い瑞穂中学校区、松波中学校区であり、図書館の利用割合が高い地区も、施設に近い第一中学校区となっています。

エ 年齢別にみると、コミュニティセンターや文化・集会施設は、年齢層が高くなるにつれ利用割合が高まる傾向があります。

オ スポーツ施設では、「20歳代」「30歳代」の利用割合が高くなっています。

カ 1回も利用したことがない割合が高い施設は、社会教育施設(市民プラザなど)の46%、博物館等の39%、観光・保養施設(シーユース雷音・じょんのび村など)の38%でした。逆に、これらの施設の利用状況が年に数回以上利用する割合が最も高いのは「30歳代」ですが、回答者の多数を占める高齢者があまり使っていない結果と思われます。

キ 利用が少ない理由として、「自分の生活上、利用する必要がない」が54%であり、「施設のサービス内容を知らない」が22%でした。また、「場所が不便であり、行きづらい」の理由が全体の10%でしたが、高柳中学校区、西山中学校区での回答割合が高くなっています。

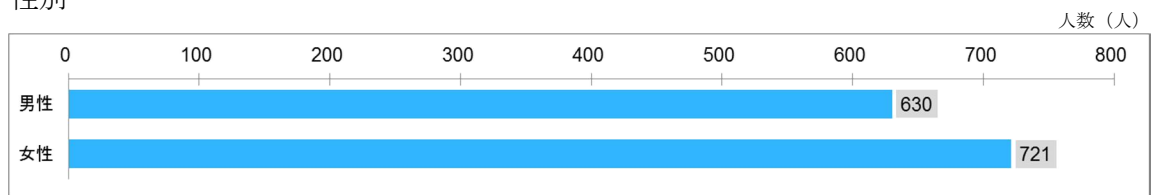
### (3) 今後の公共施設の在り方について

- ア 市の公共施設マネジメントの取組を知らない人は63%で、知っている人は37%でした。年齢別では、20歳代以下の認知度が低くなっています。年齢層が高くなるにつれ関心度が高まる傾向にあります。
- イ 公共施設の更新に多額の財政負担が必要であることに関心がある人の割合は77%でした。女性の関心度が男性に比べて低く、年齢層が高くなるにつれ関心度が高まる傾向があります。
- ウ 削減目標については、「マネジメント基本方針の長期目標のとおりでよい」と思う人が52%で、「もっと厳しい目標を掲げて取り組むべき」が35%でした。女性は「長期目標のとおりでよい」の割合が高いのに対して、男性は「もっと厳しい目標を掲げて取り組むべき」との割合が多い傾向となっています。
- エ 廃止や統合に対する考え方として多い回答は、「多機能・複合化しながら推進すべき」が52%で、「やむを得ない」が43%でした。男性女性とも同じ傾向となっています。
- オ 廃止や統合を行うと仮定した場合に考慮すべき事項として、「利用者が少ない」が25%、次いで「維持管理費用がかかり過ぎている」が20%、「同じような用途で施設の数が多い」が14%と多くなっています。
- カ 廃止や統合を考えるべき施設として多い回答は、「福祉・保健施設(元気館・総合福祉センターなど)」の21%、「文化・集会施設」の21%でした。
- キ 優先的に管理・運営、改修・建替えを行う必要がある施設として、「公園」及び「文化・集会施設」が15%、次いで「市営住宅」が10%と多くなっています。年齢別にみると、50歳代以下では、①公園、②文化・集会施設、③市営住宅、④福祉・保健施設の順であり、60歳代以上では、①文化・集会施設、②公園、③市営住宅、④観光・保養施設の順となっています。どの中学校区でも、同様な傾向となっています。
- ク 公共施設に対する取組として、重要であると思うものとして、「多機能・複合化」が29%、次いで「維持管理費の節減」が22%、「既存施設の有効活用」が20%と多くなっています。逆に、「利用者負担割合の増加」が8%と少なくなっています。年齢層・中学校区ともほぼ同様な傾向となっています。

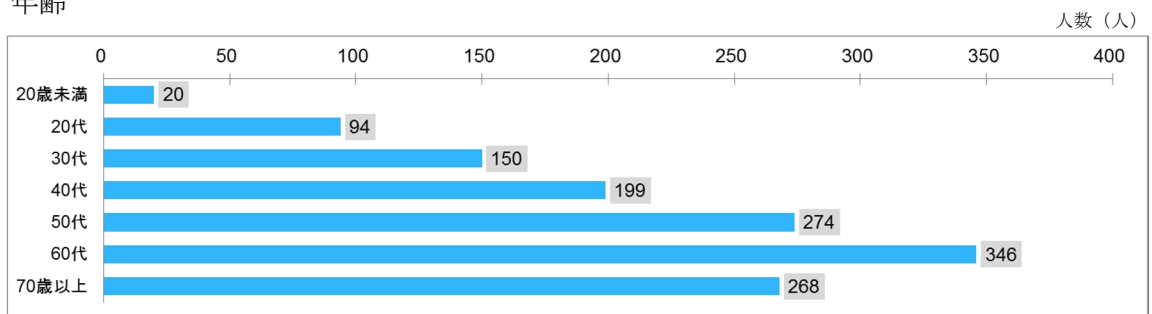
### 3 アンケート結果

#### (1) 市民回答者の属性

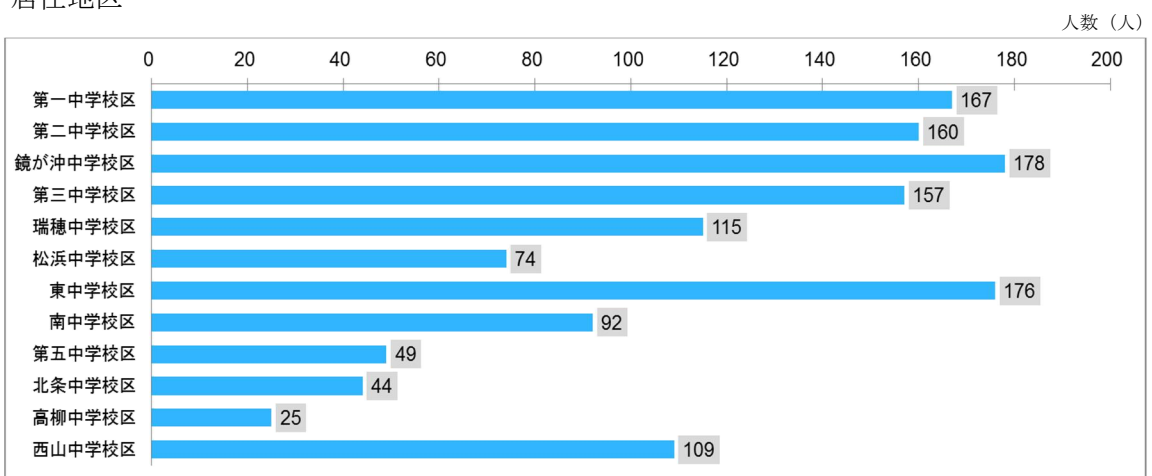
##### ア 性別



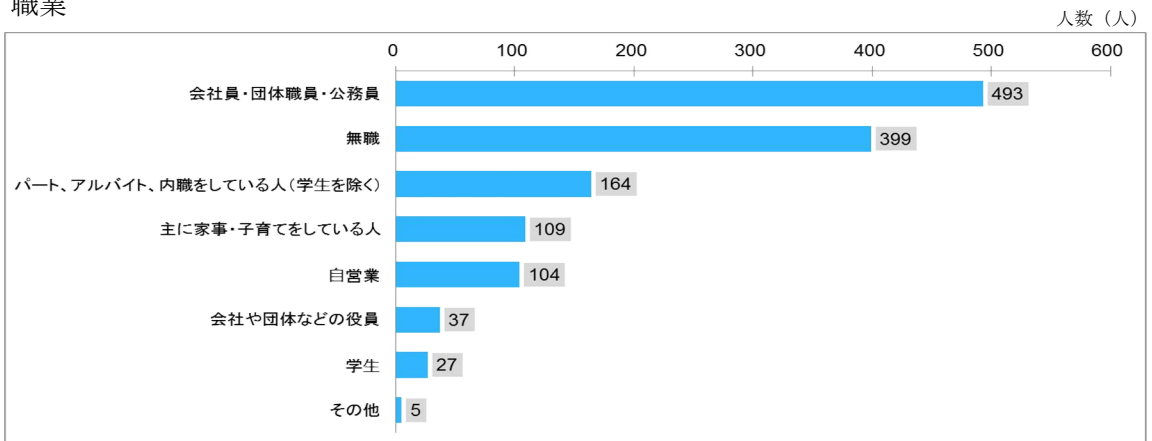
##### イ 年齢



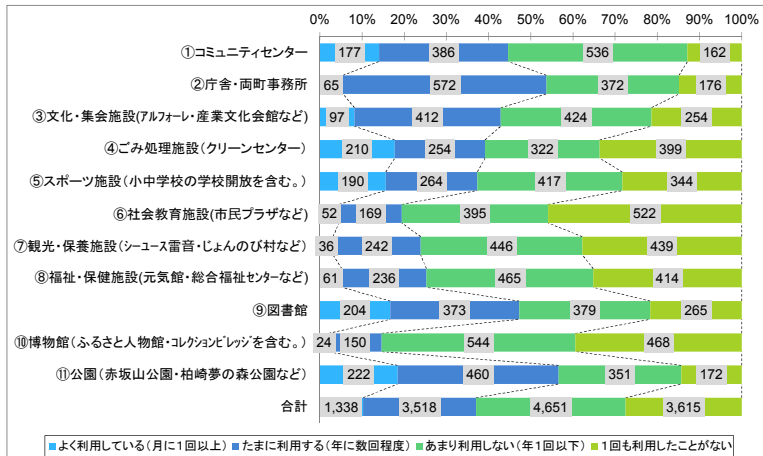
##### ウ 居住地区



##### エ 職業



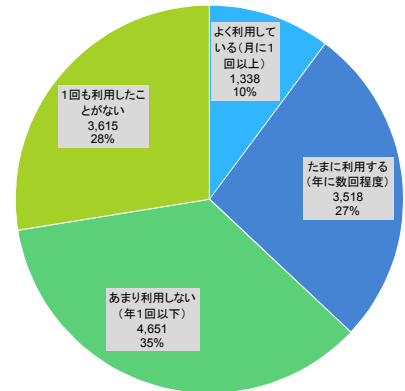
## (2) 公共施設の利用状況（全体）



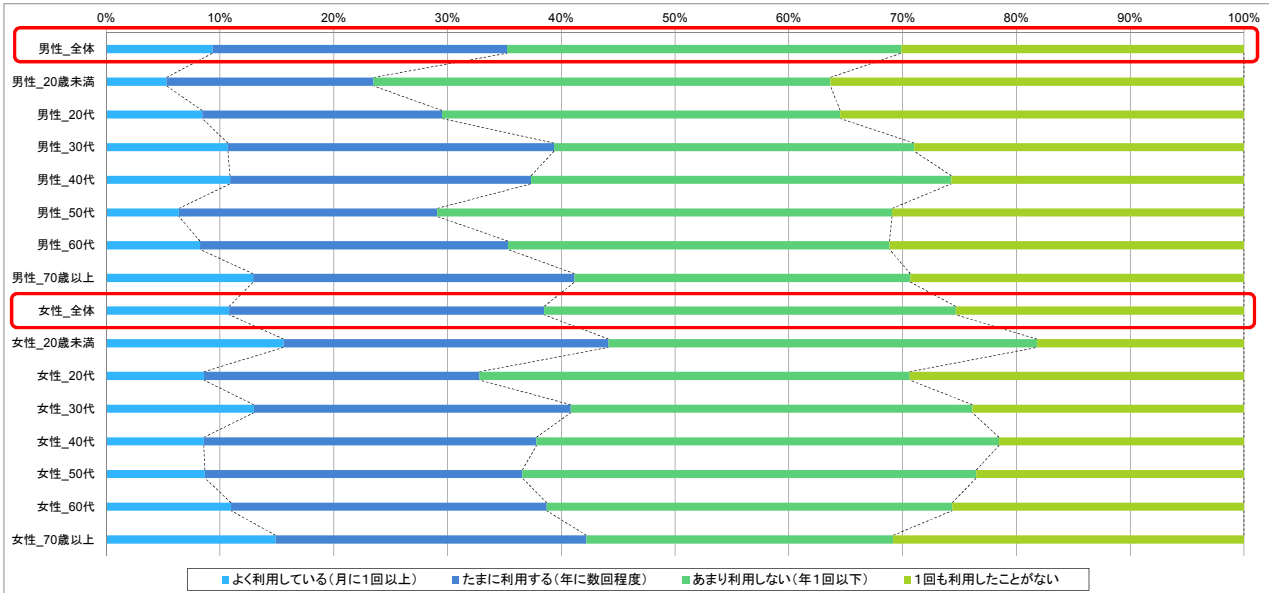
年1回以上利用する割合が50%を超えている公共施設は、庁舎・両町事務所と公園（赤坂山公園・柏崎夢の森公園など）です。

1回も利用したことがない割合が最も高い公共施設は、社会教育施設(市民プラザなど)の45.9%であり、2番目は博物館（ふるさと人物館・コレクションビレッジを含む。）の39.5%です。

公共施設全体（すべての種類の値を合計したもの）

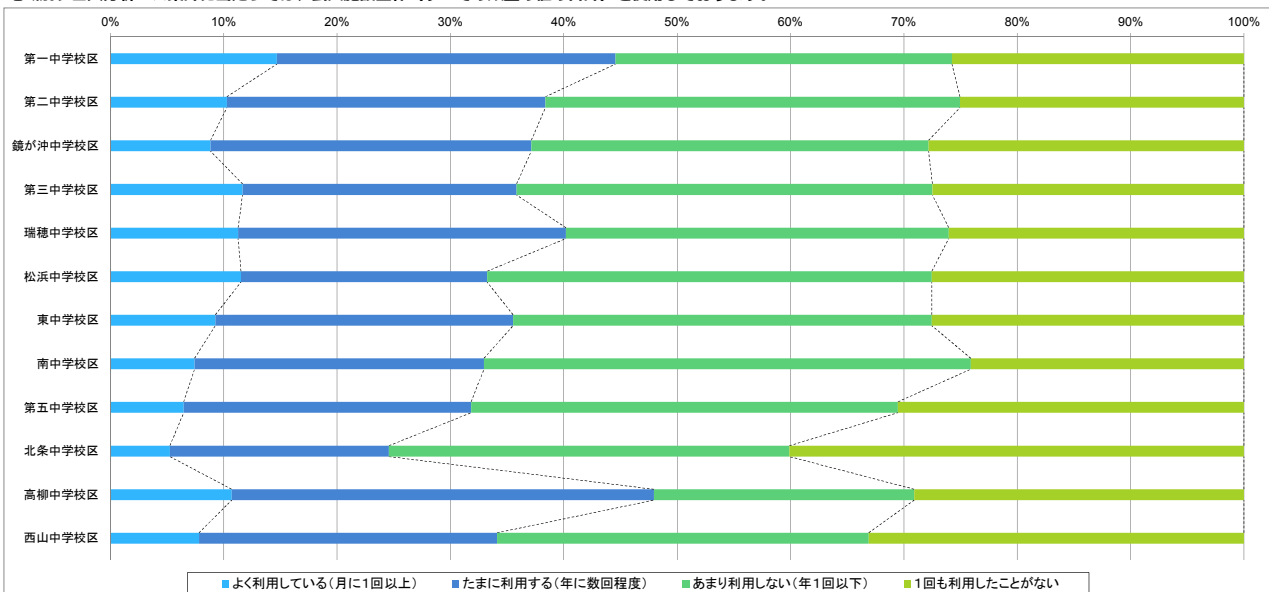


性別・年齢別クロス分析 ※集計に当たっては、公共施設全体（すべての種類の値の合計）を使用しております。



※無回答は含めておりません。

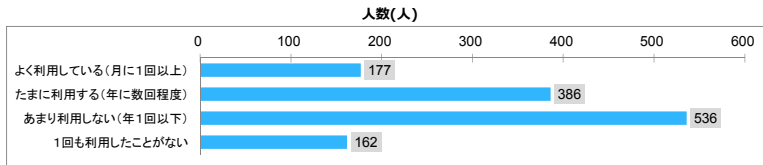
地域別クロス分析 ※集計に当たっては、公共施設全体（すべての種類の値の合計）を使用しております。



※無回答は含めておりません。

## ①コミュニティセンターの利用状況

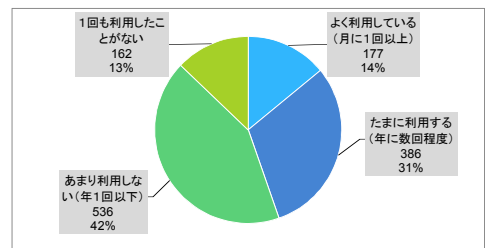
コ  
ミ  
ュ  
ニ  
ティ  
セ  
ン  
タ  
ー  
利  
用  
回  
数



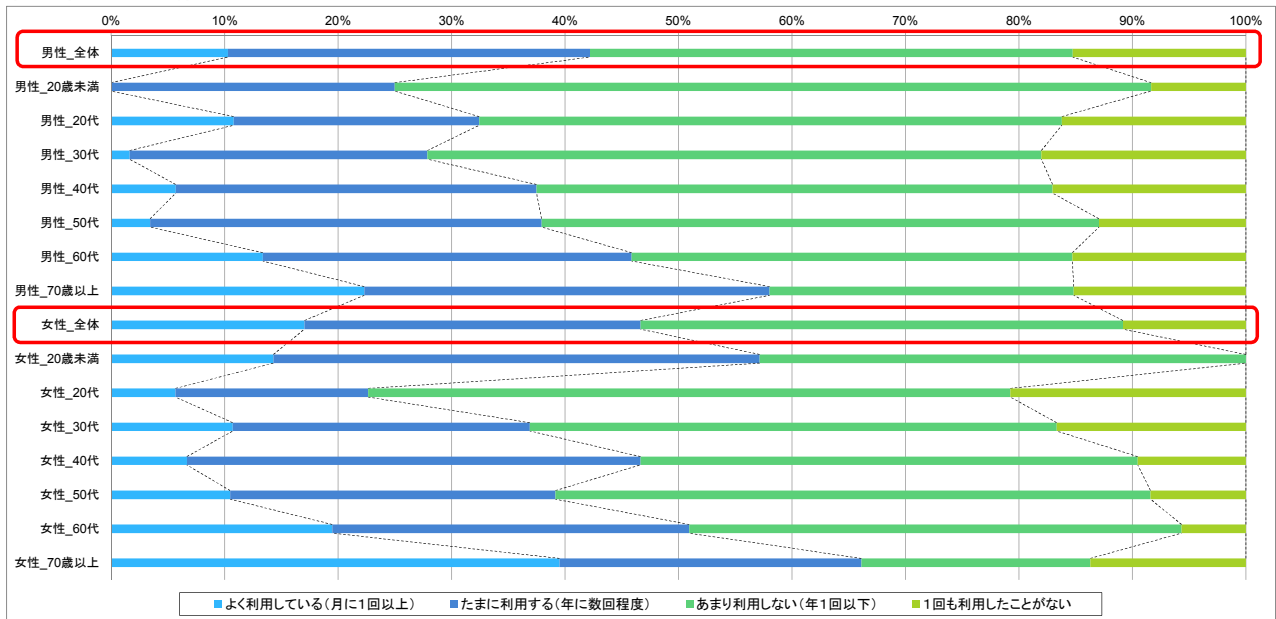
最も多い回答は、あまり利用しない(年1回以下)の536人です。2番目に多い回答は、たまに利用する(年に数回程度)の386人です。  
最も少ない回答は、1回も利用したことがない162人です。2番目に少ない回答は、よく利用している(月に1回以上)の177人です。

回答数 1,261

回答率 93.0%

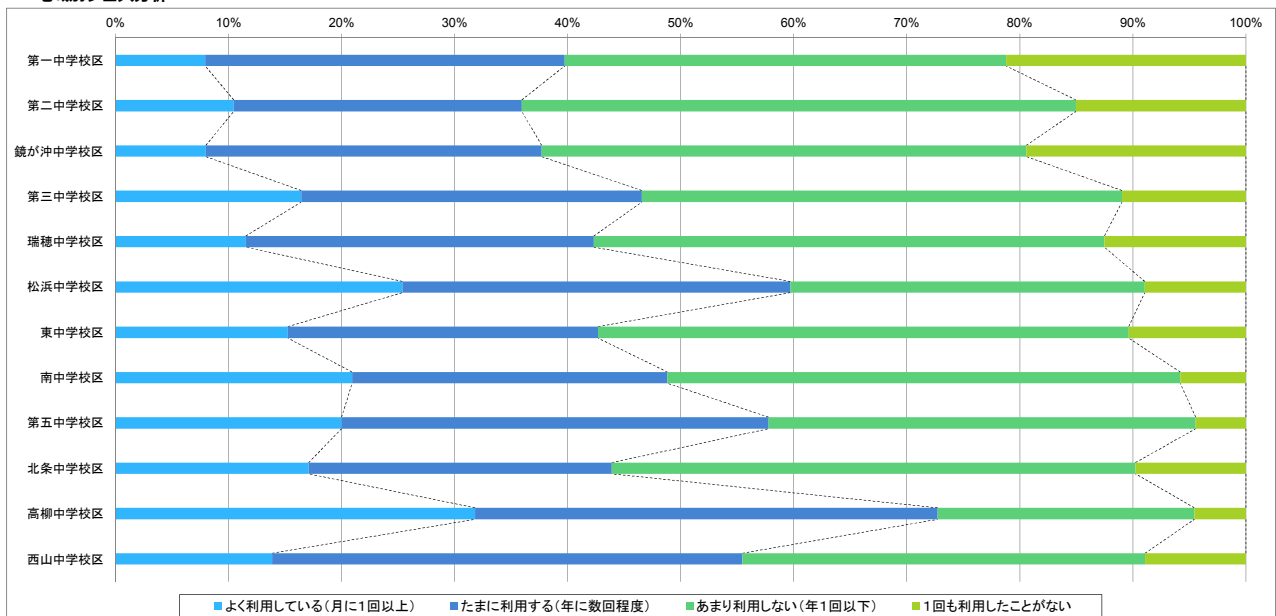


### 性別・年齢別クロス分析



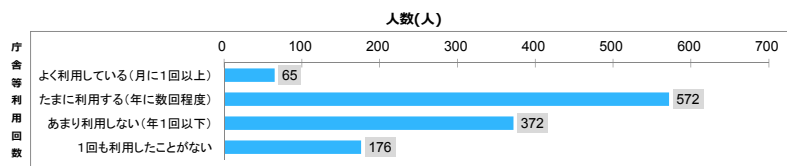
※無回答は含めておりません。

### 地域別クロス分析



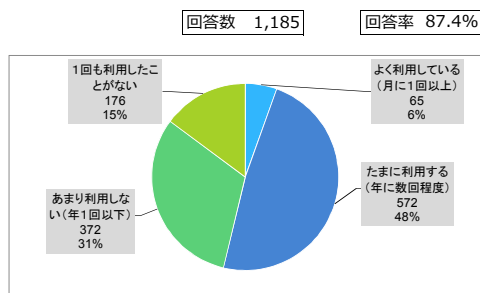
※無回答は含めておりません。

## ②庁舎・両町事務所の利用状況

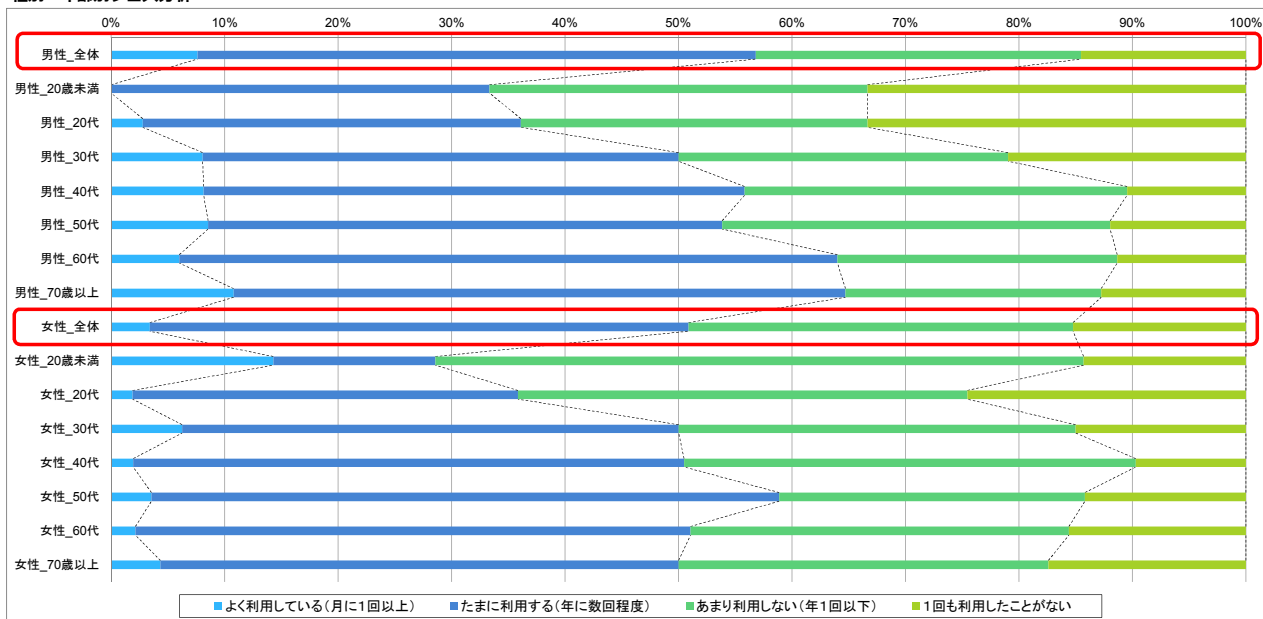


最も多い回答は、たまに利用する(年に数回程度)の572人です。2番目に多い回答は、あまり利用しない(年1回以下)の372人です。

最も少ない回答は、よく利用している(月に1回以上)の65人です。2番目に少ない回答は、1回も利用したことがないの176人です。

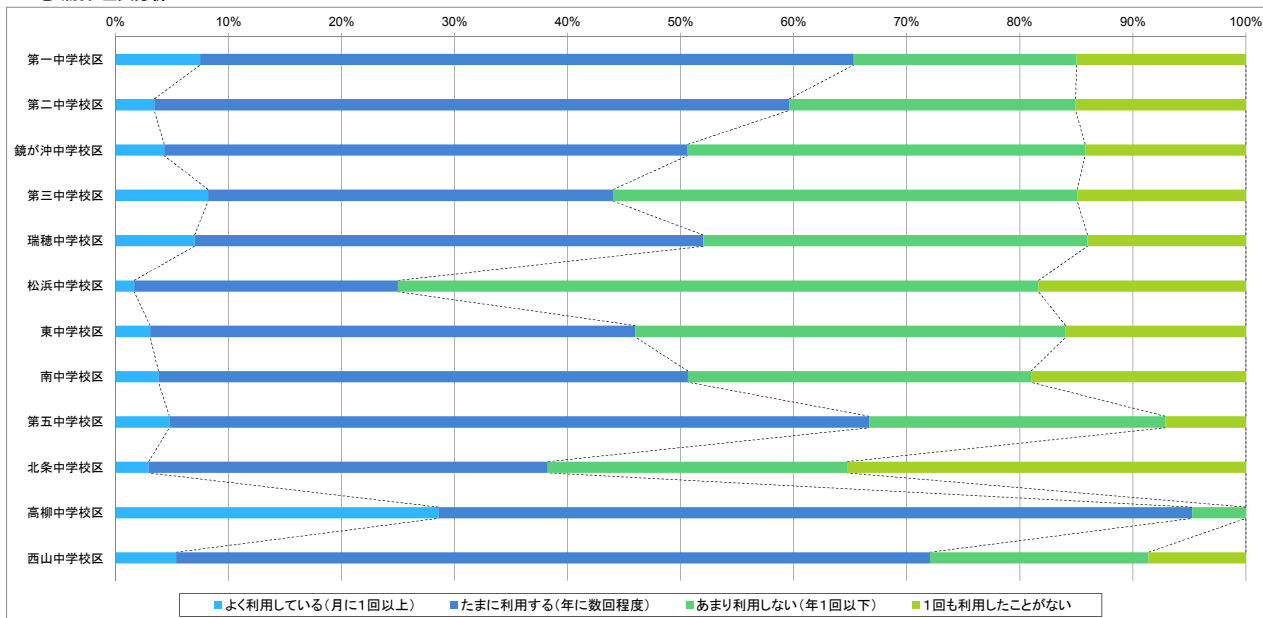


### 性別・年齢別クロス分析



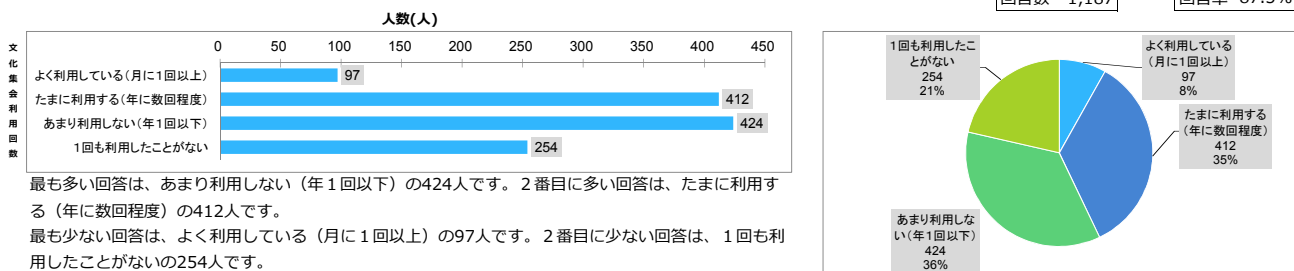
※無回答は含めておりません。

### 地域別クロス分析

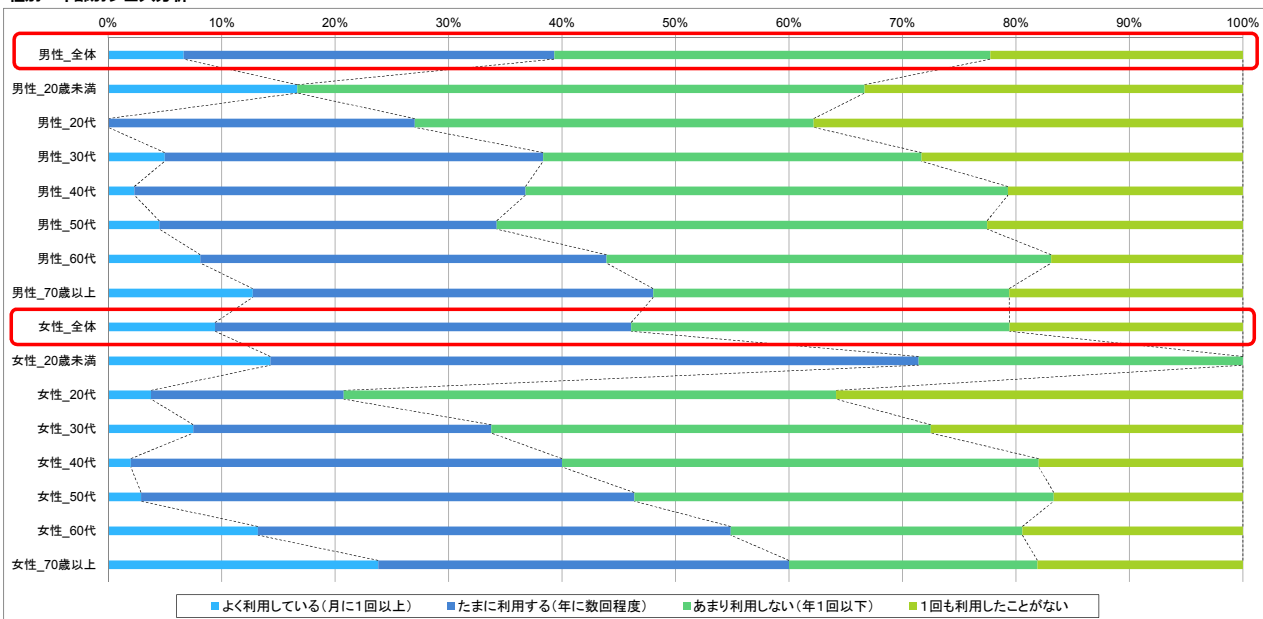


※無回答は含めておりません。

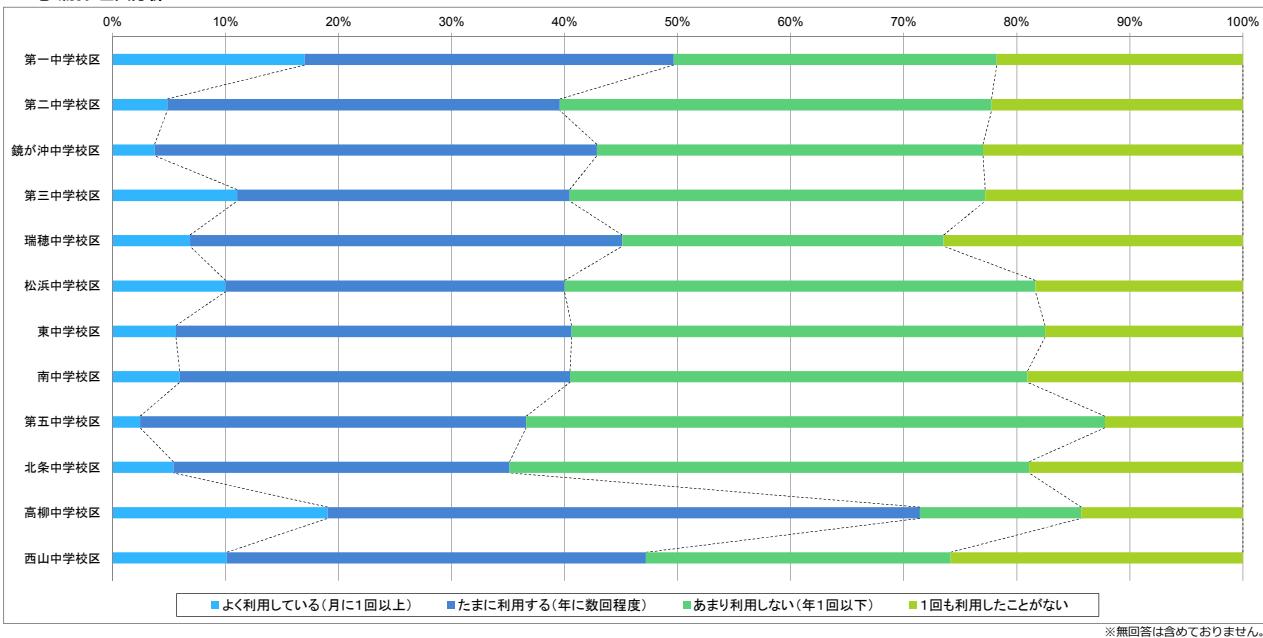
### ③文化・集会施設（アルフォーレ・産業文化会館など）の利用状況



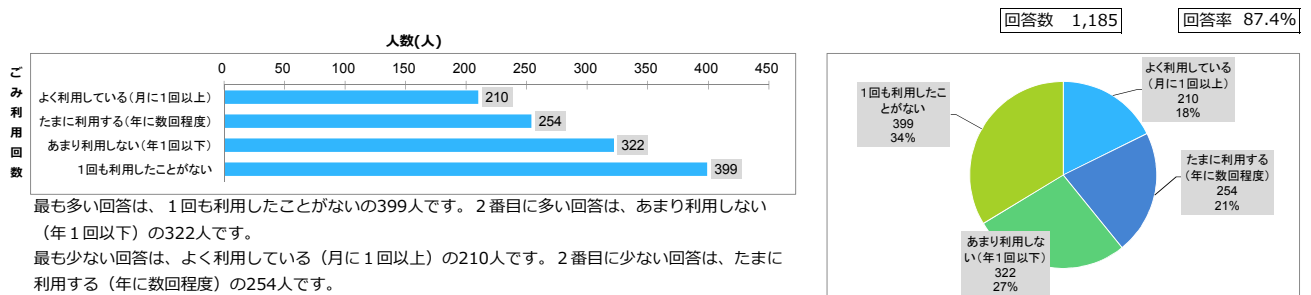
#### 性別・年齢別クロス分析



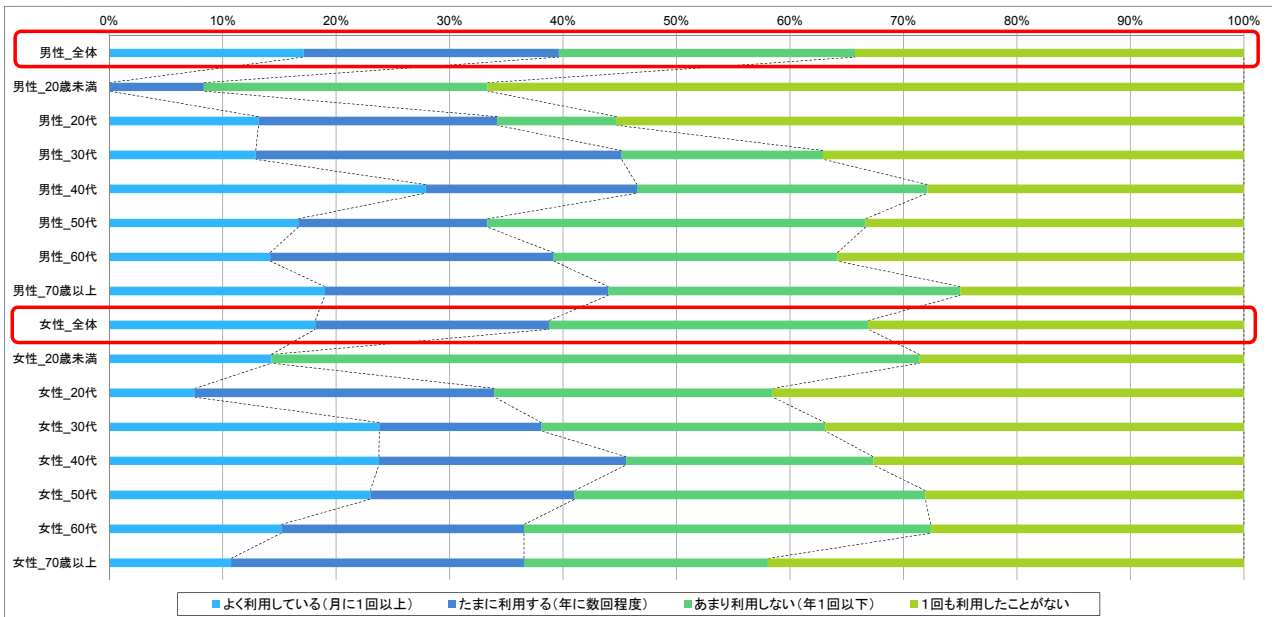
#### 地域別クロス分析



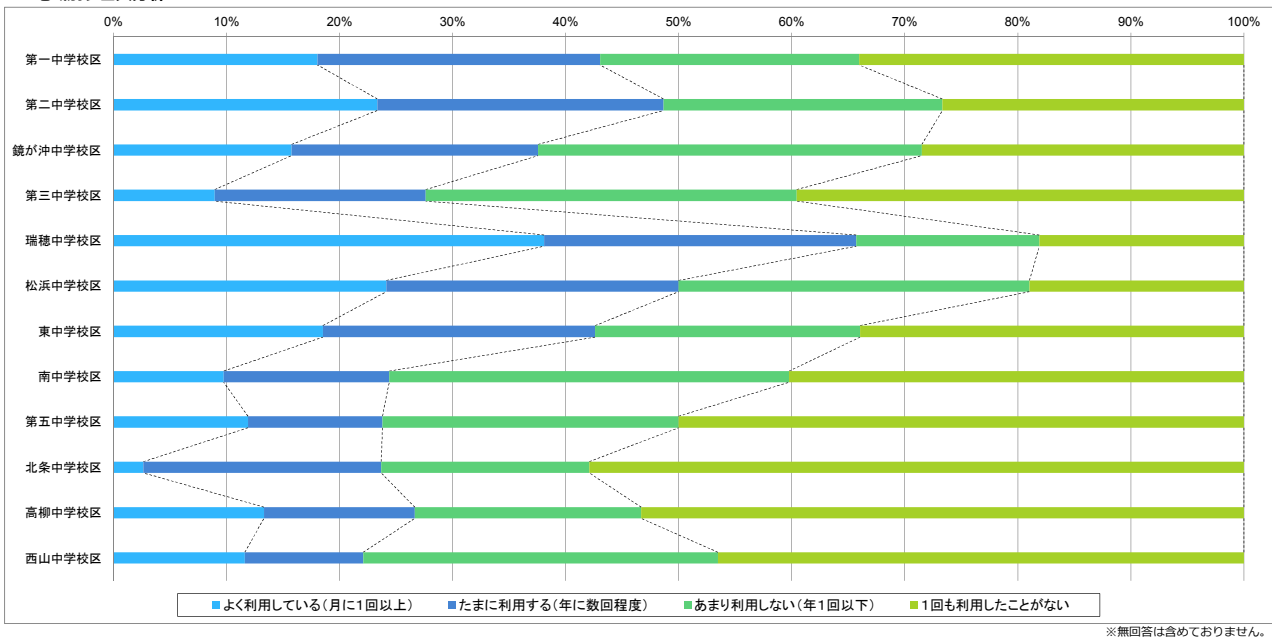
#### ④ごみ処理施設（クリーンセンター）の利用状況



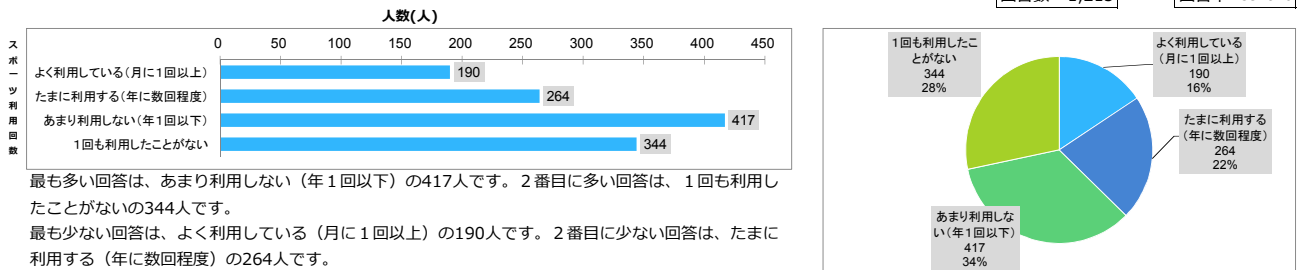
##### 性別・年齢別クロス分析



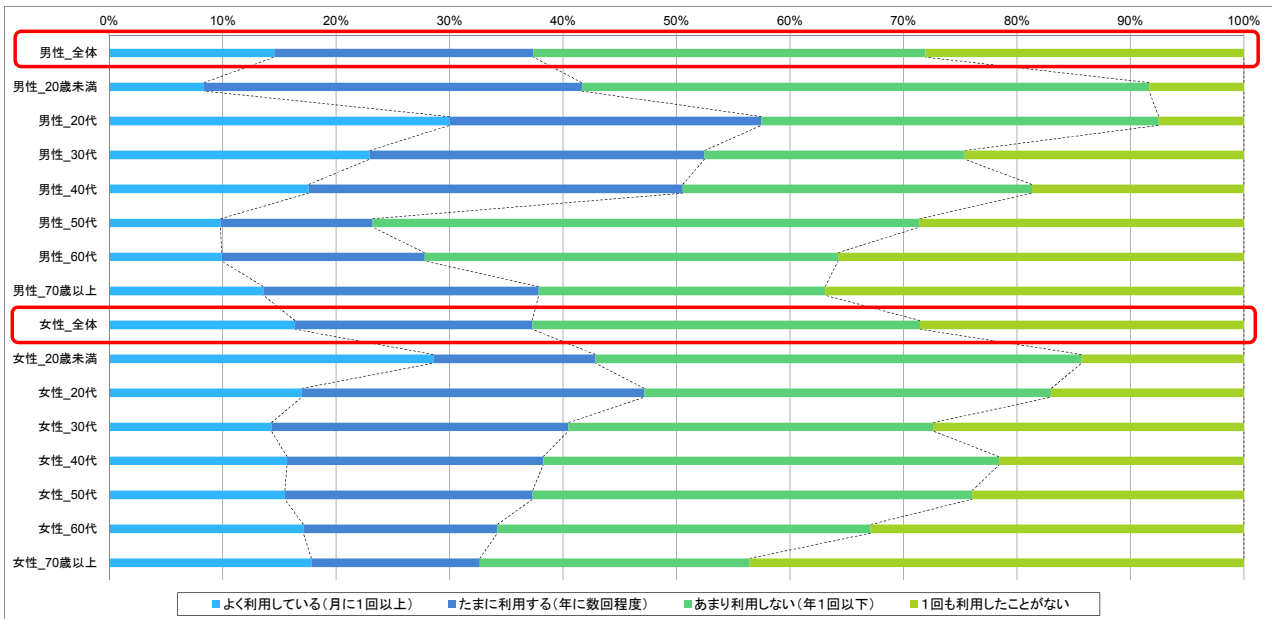
##### 地域別クロス分析



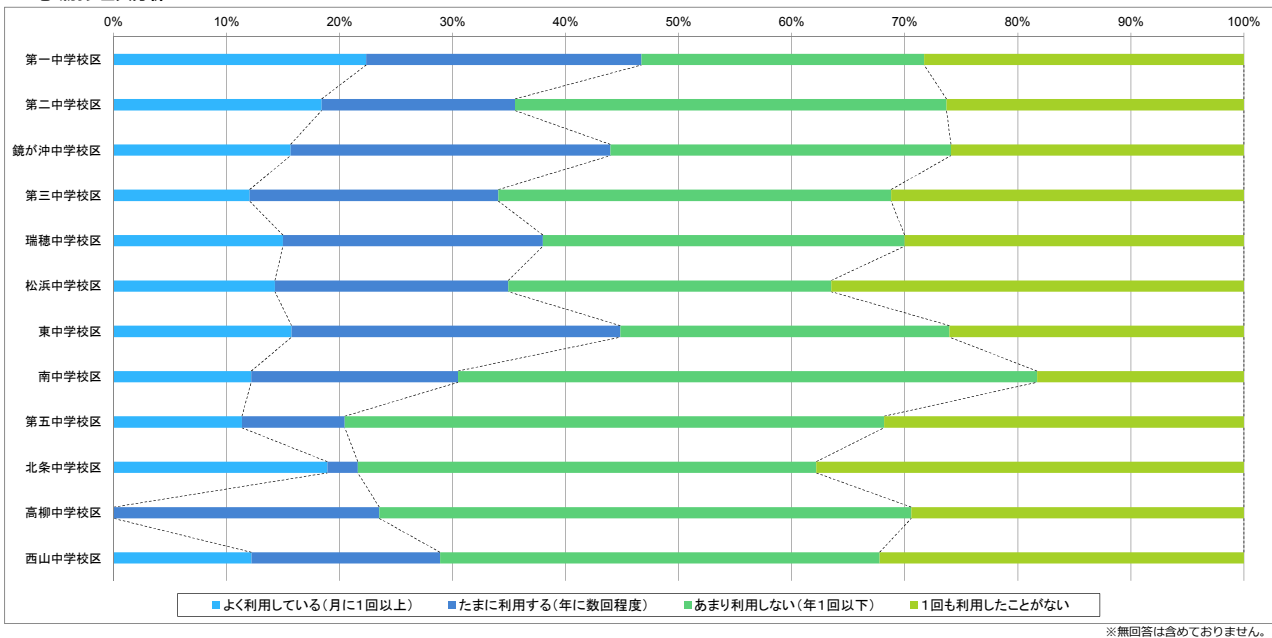
## ⑤スポーツ施設（小中学校の学校開放を含む。）の利用状況



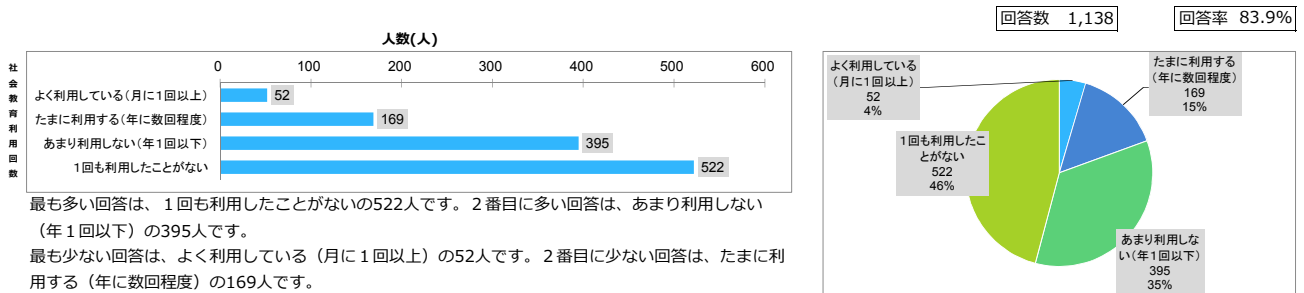
### 性別・年齢別クロス分析



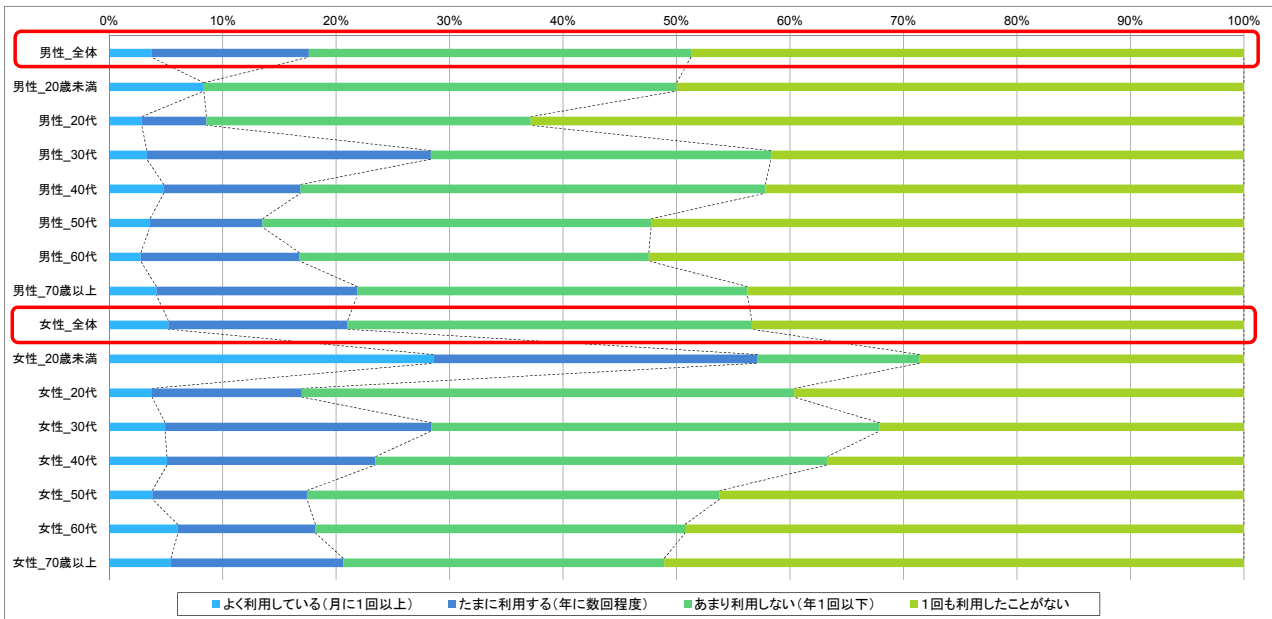
### 地域別クロス分析



## ⑥ 社会教育施設（市民プラザ）の利用状況

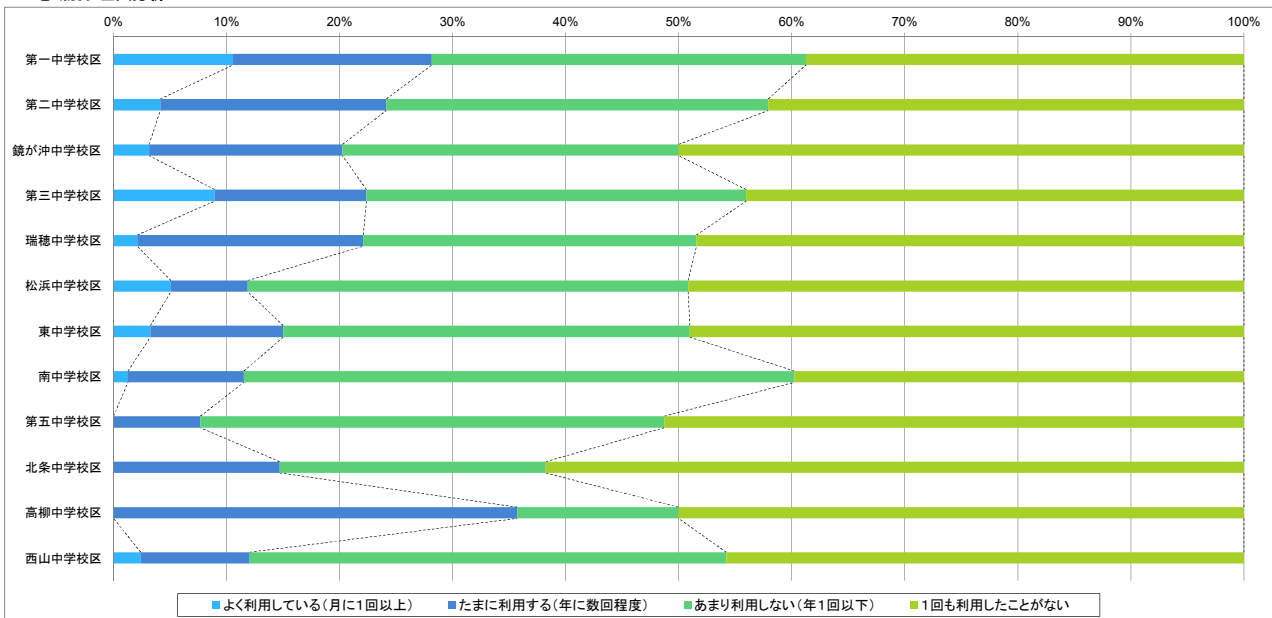


### 性別・年齢別クロス分析



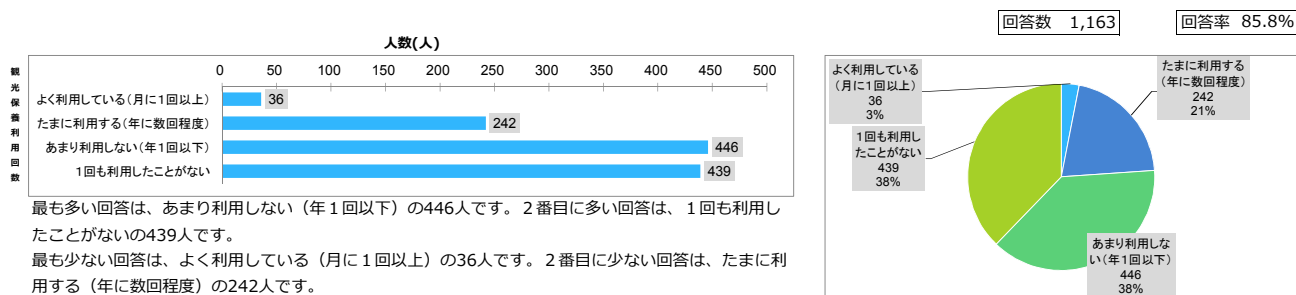
※無回答は含めておりません。

### 地域別クロス分析

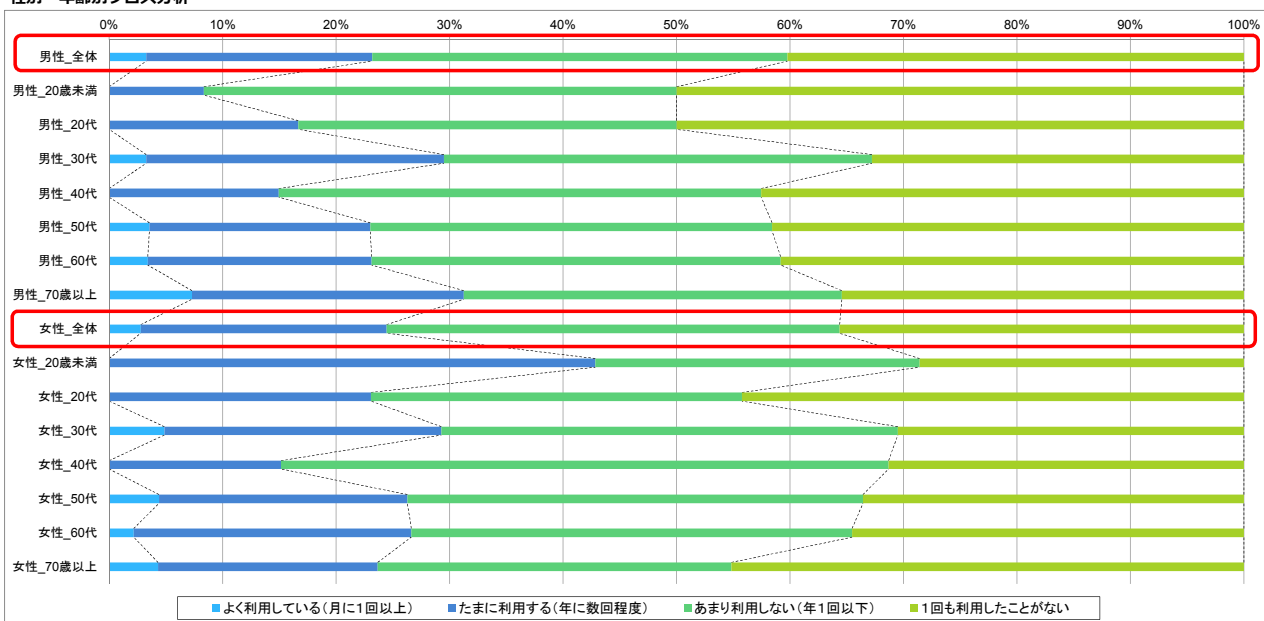


※無回答は含めておりません。

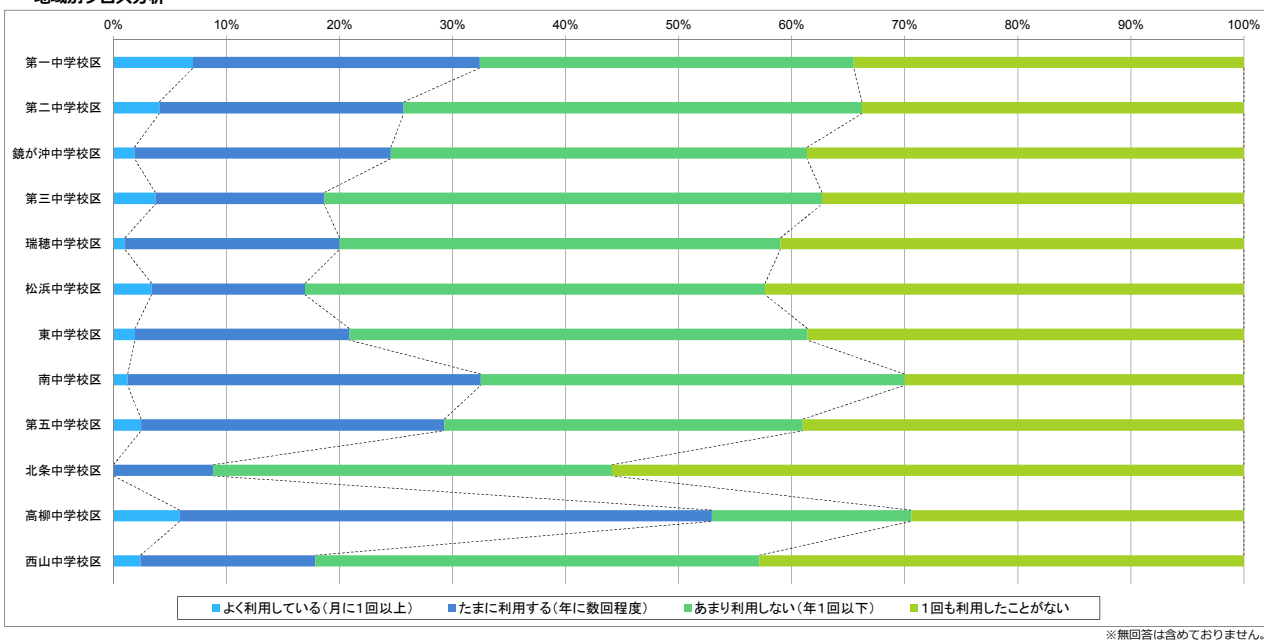
## ⑦観光・保養施設（シーユース雷音・じょんのび村など）の利用状況



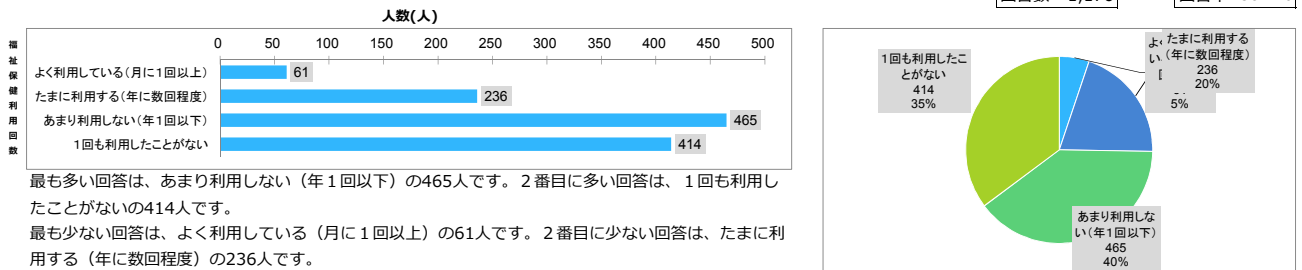
### 性別・年齢別クロス分析



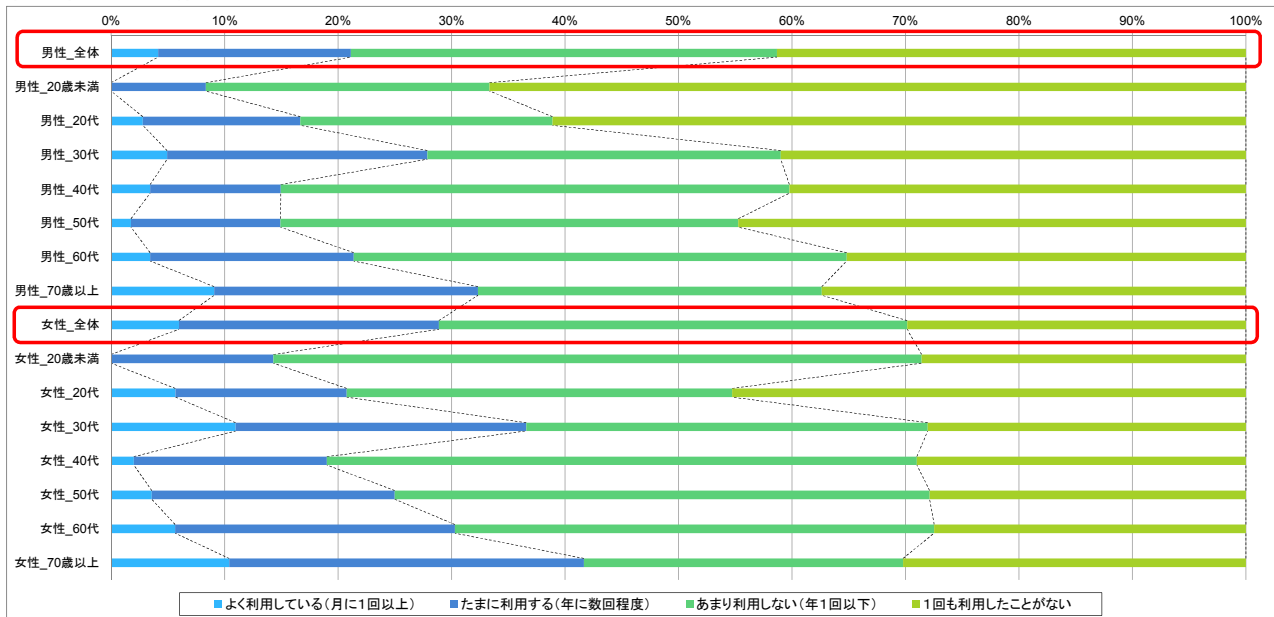
### 地域別クロス分析



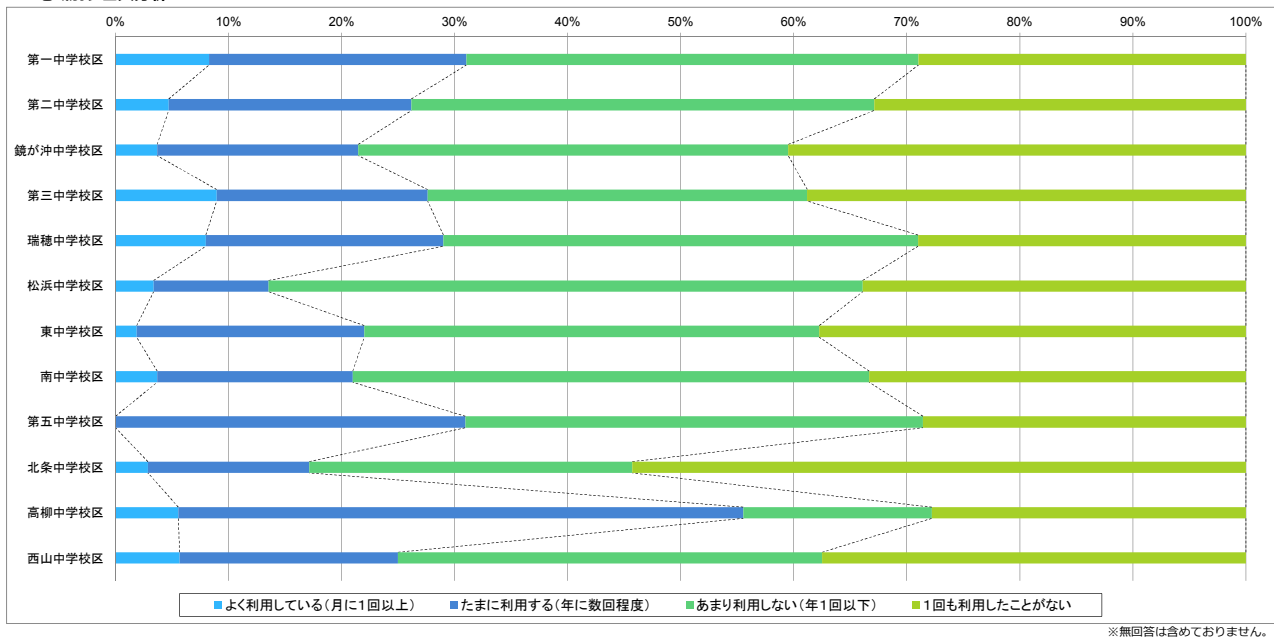
## ⑧福祉・保険施設（元気館・総合福祉センターなど）の利用状況



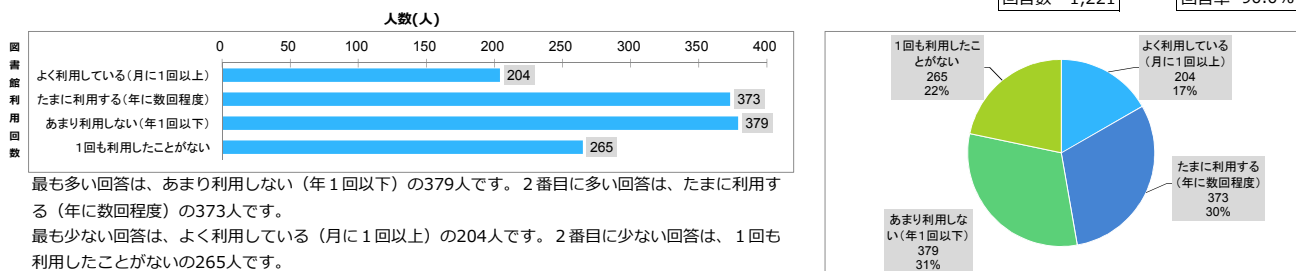
### 性別・年齢別クロス分析



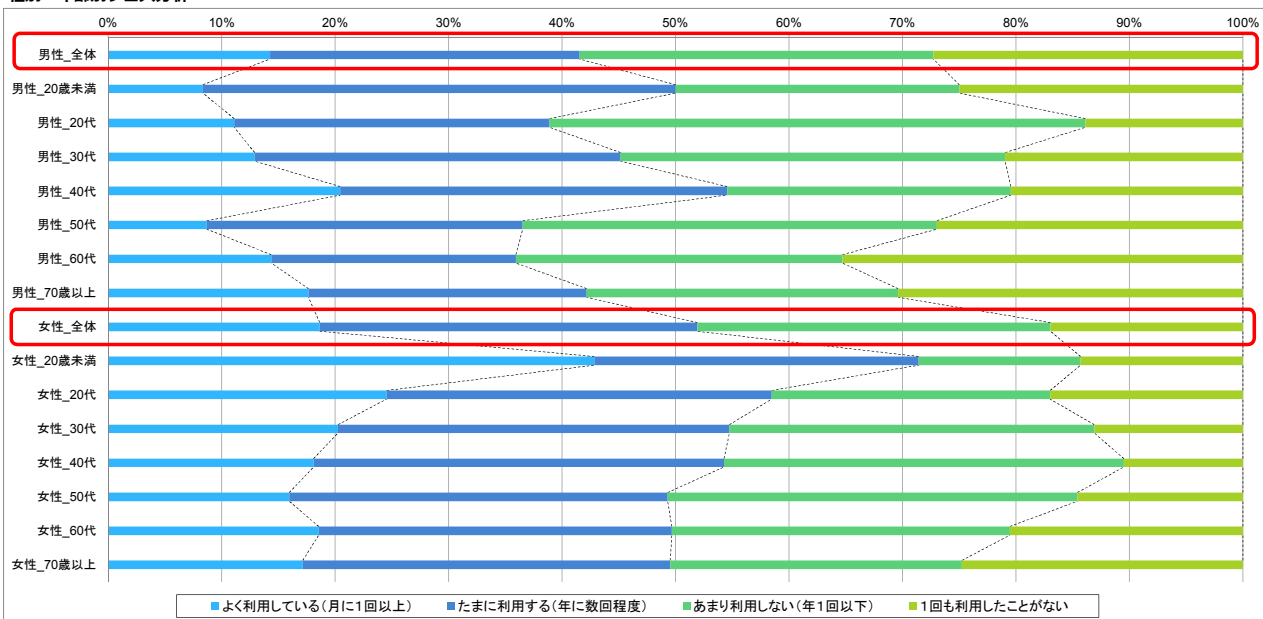
### 地域別クロス分析



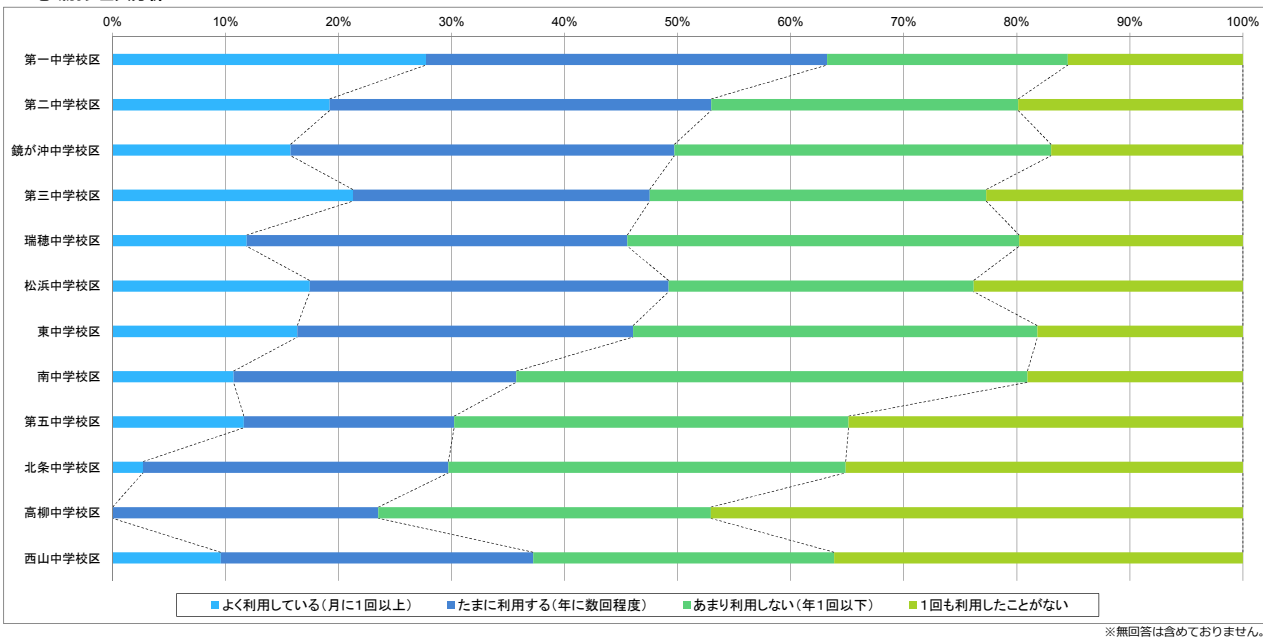
## ⑨図書館の利用状況



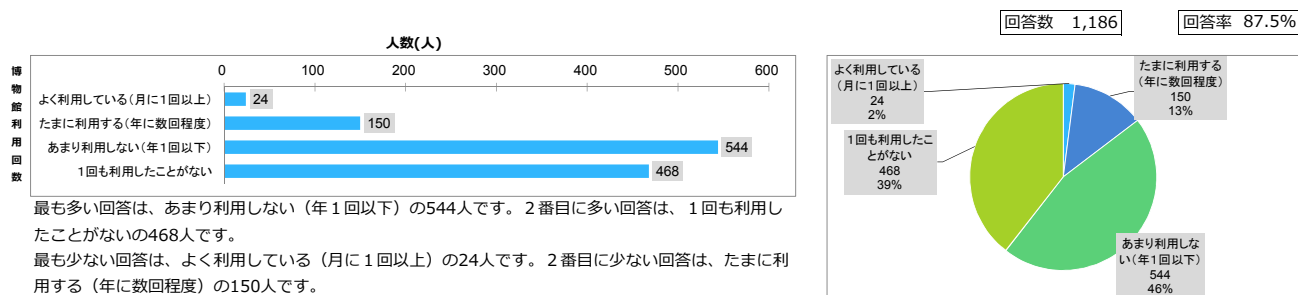
### 性別・年齢別クロス分析



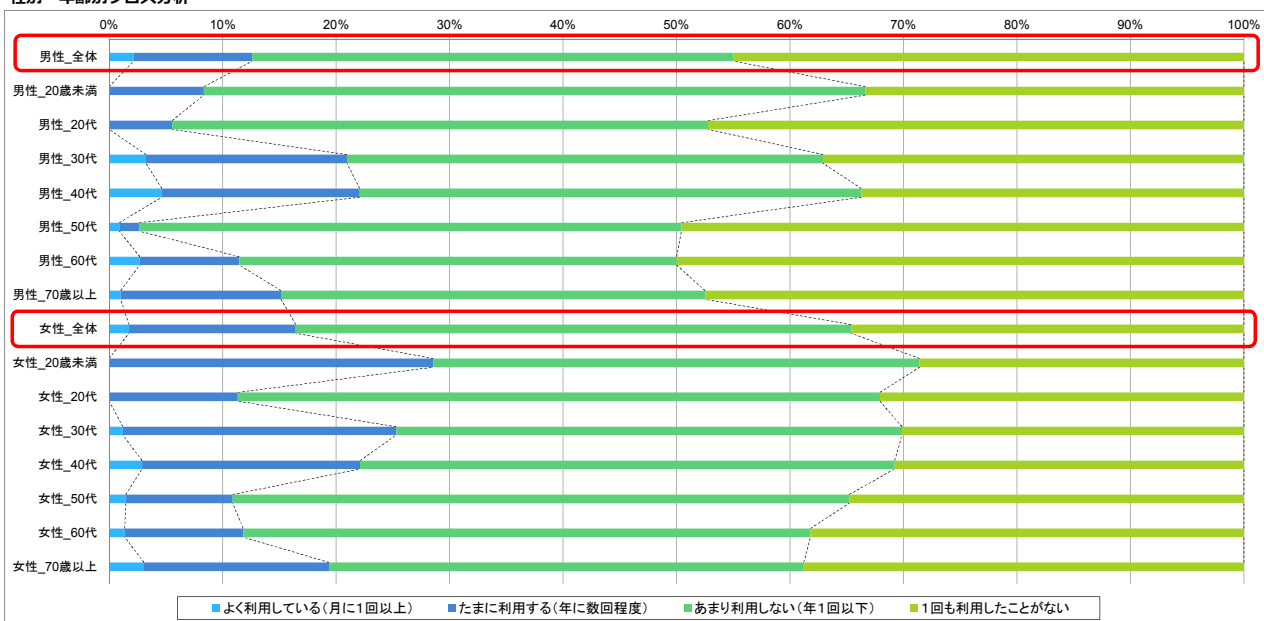
### 地域別クロス分析



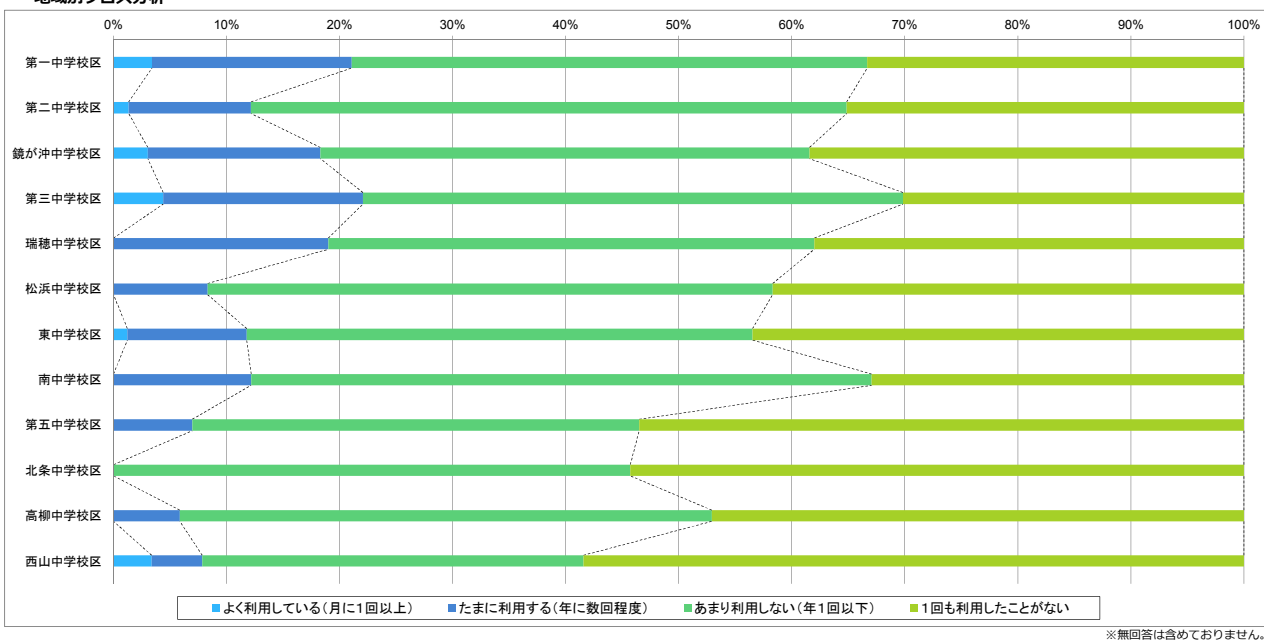
## ⑩博物館（ふるさと人物館・コレクションビレッジを含む。）の利用状況



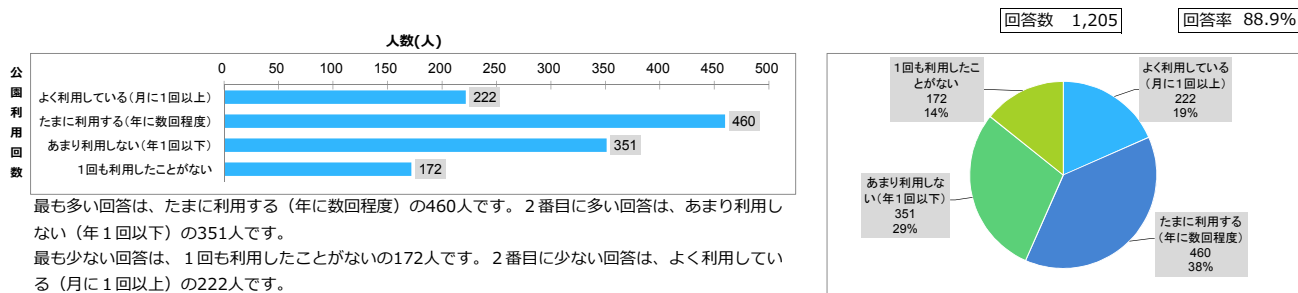
### 性別・年齢別クロス分析



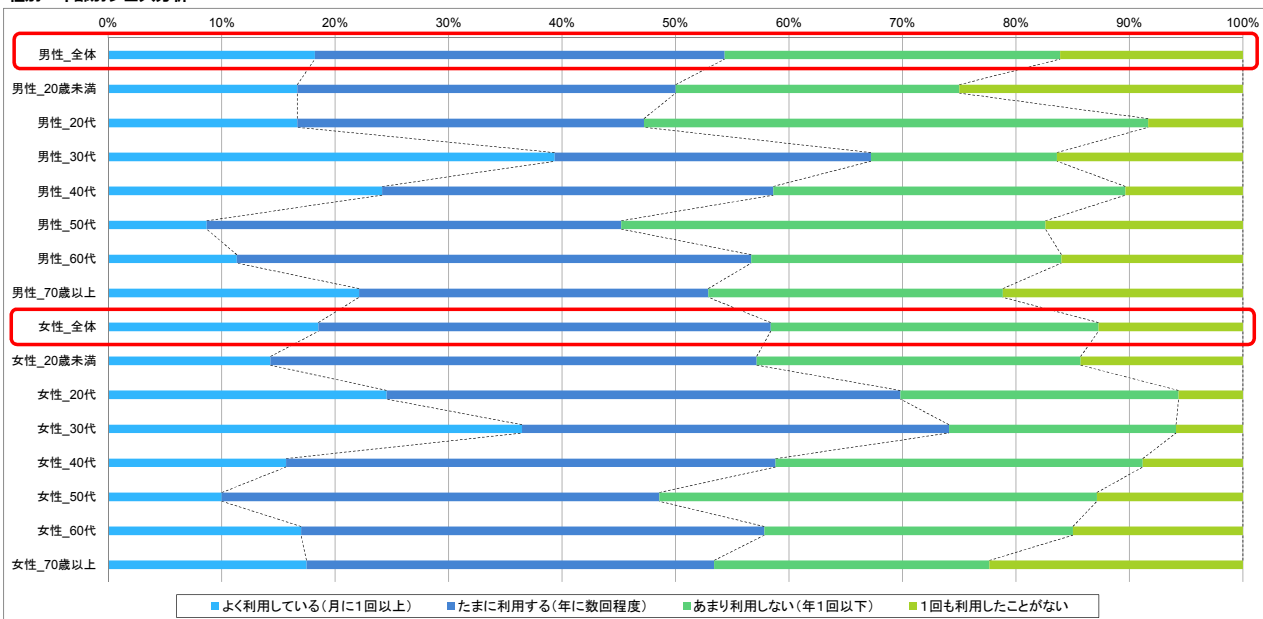
### 地域別クロス分析



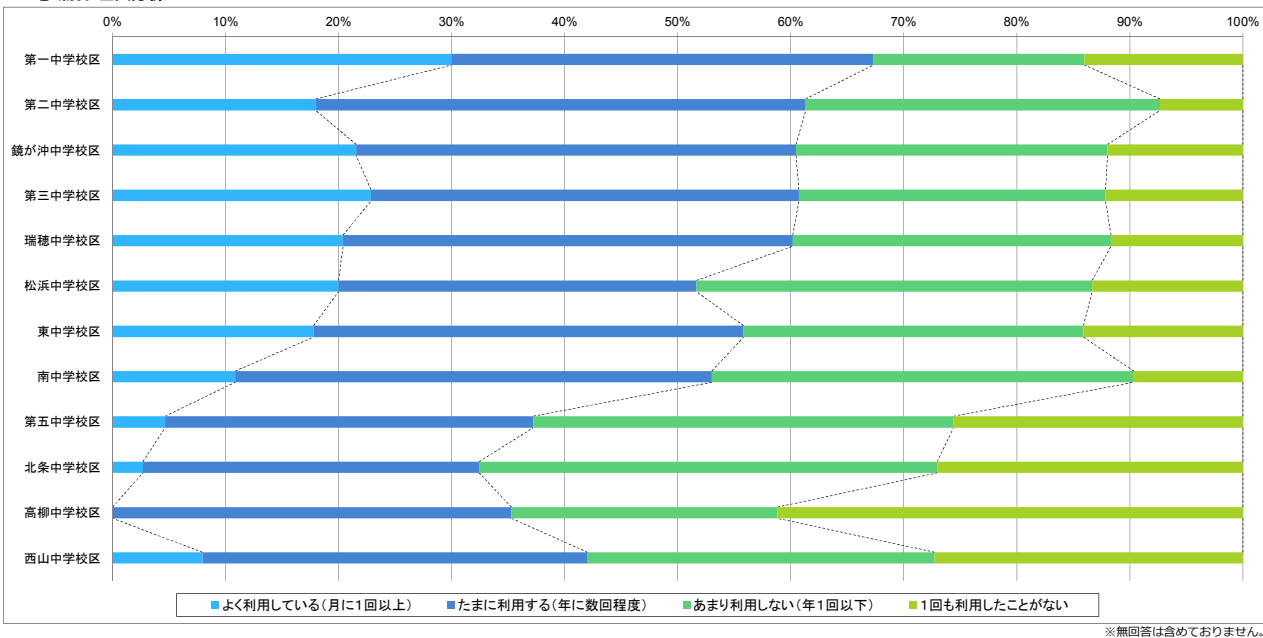
## ⑪公園（赤坂山公園・柏崎夢の森公園など）の利用状況



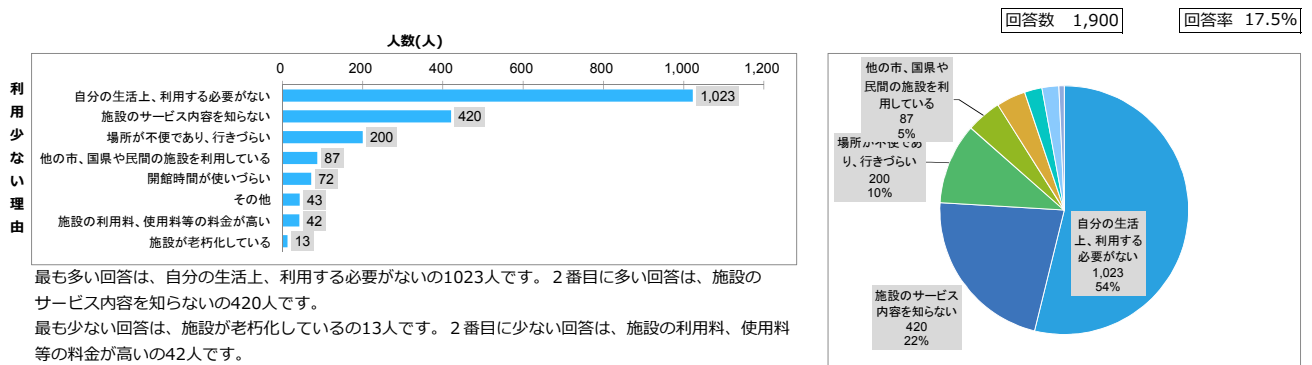
### 性別・年齢別クロス分析



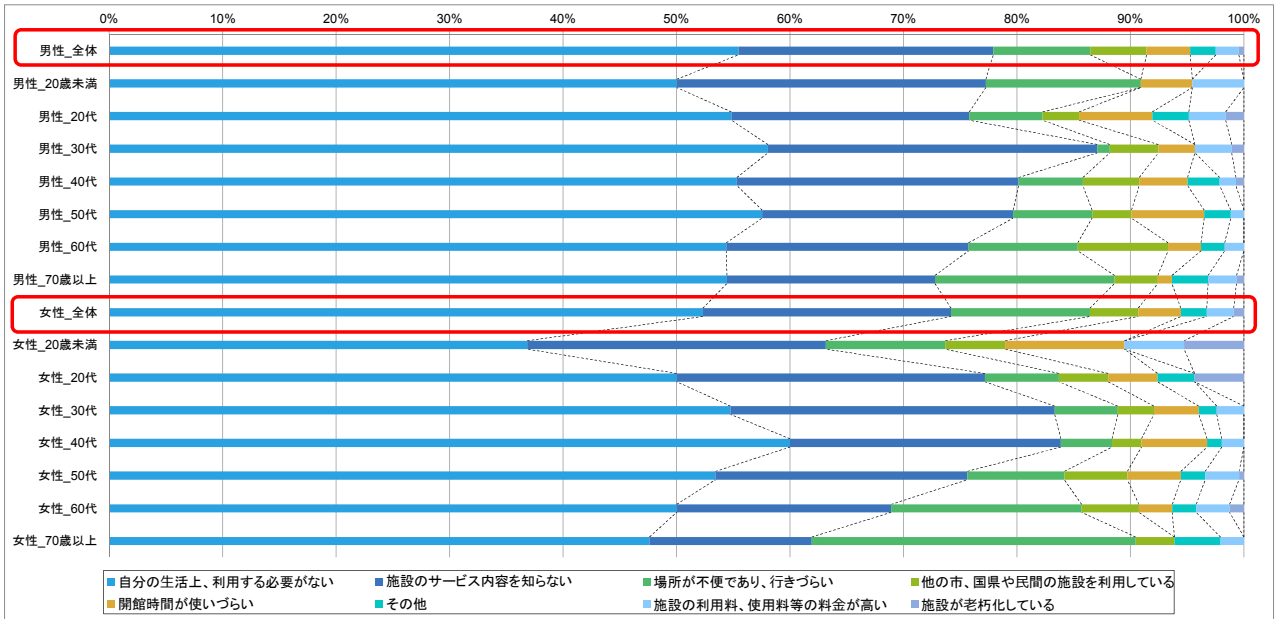
### 地域別クロス分析



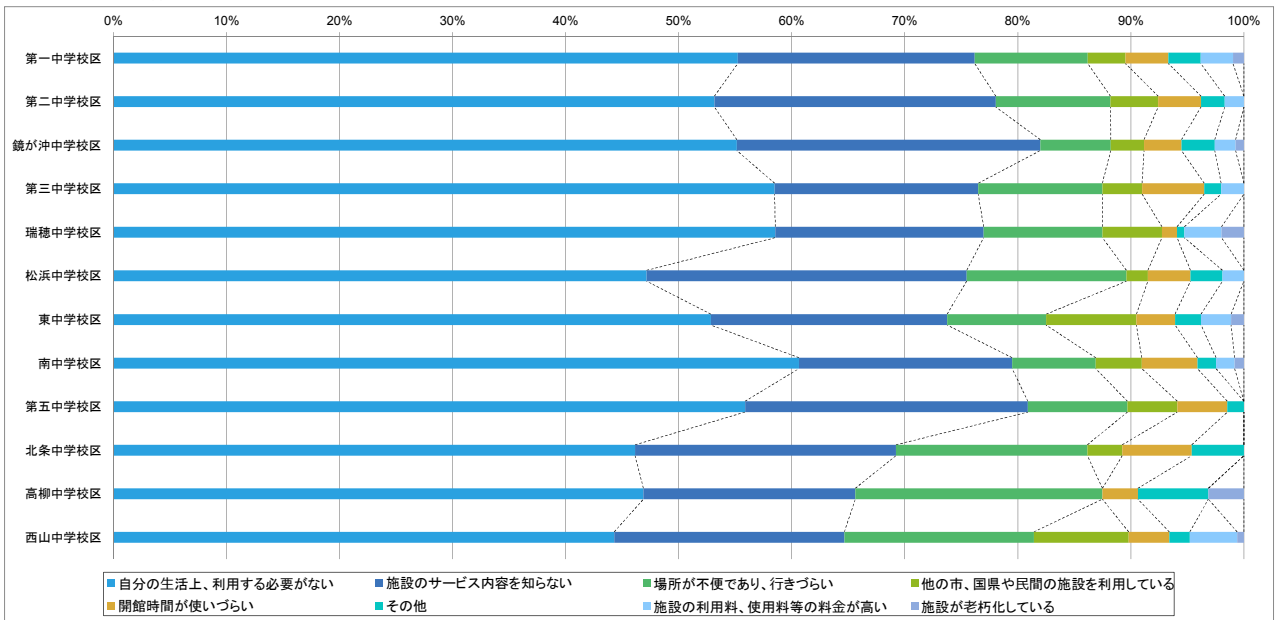
### (3) 公共施設を利用しなかった理由



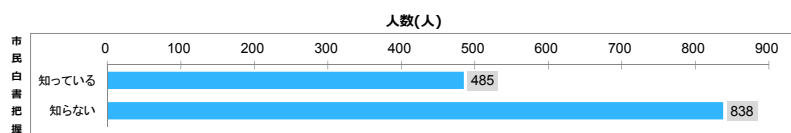
#### 性別・年齢別クロス分析



#### 地域別クロス分析



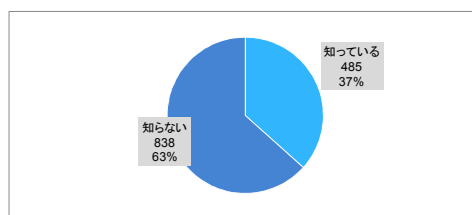
#### (4) 公共施設マネジメントの認知度



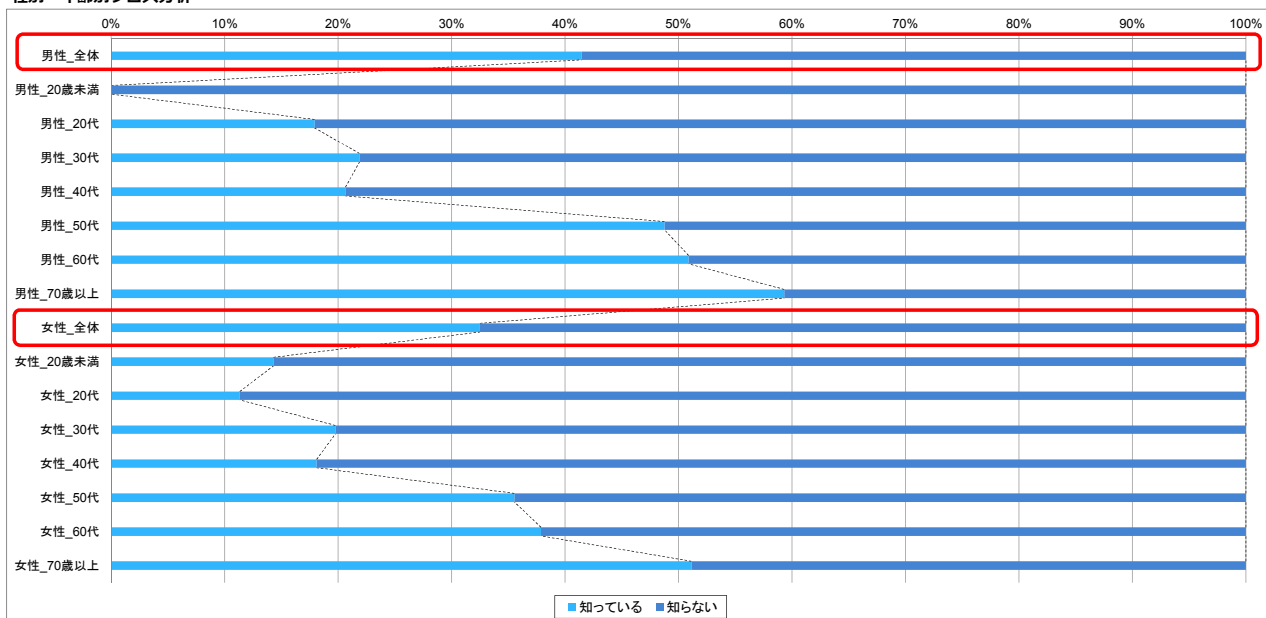
最も多い回答は、知らないの838人です。2番目に多い回答は、知っているの485人です。

回答数 1,323

回答率 97.6%

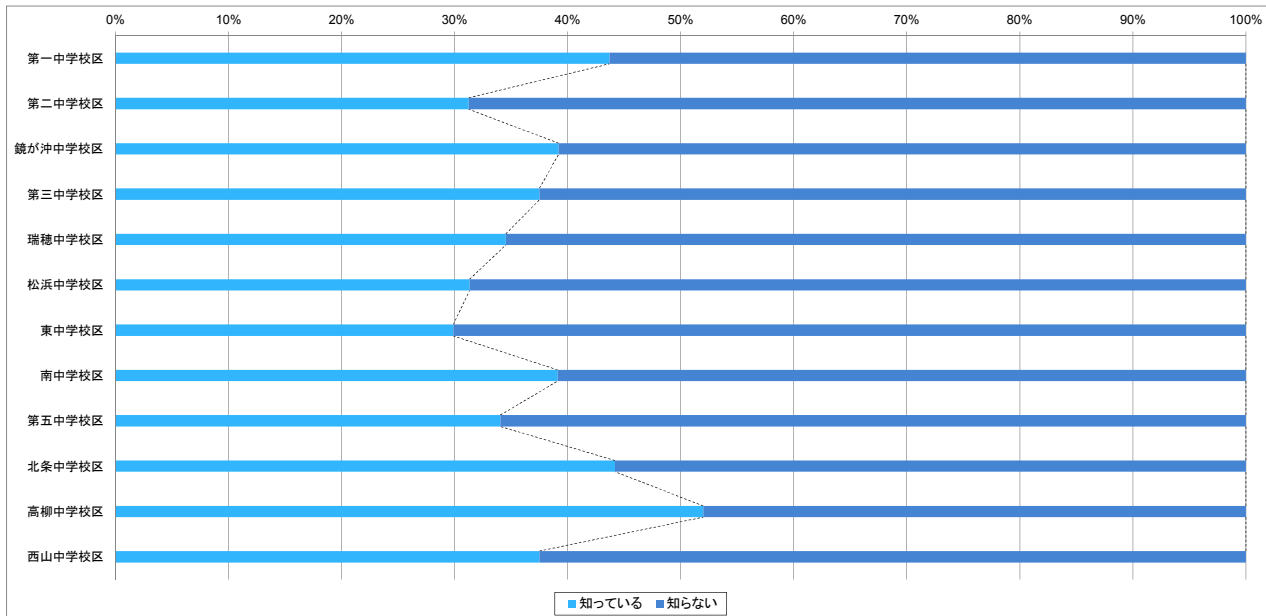


##### 性別・年齢別クロス分析



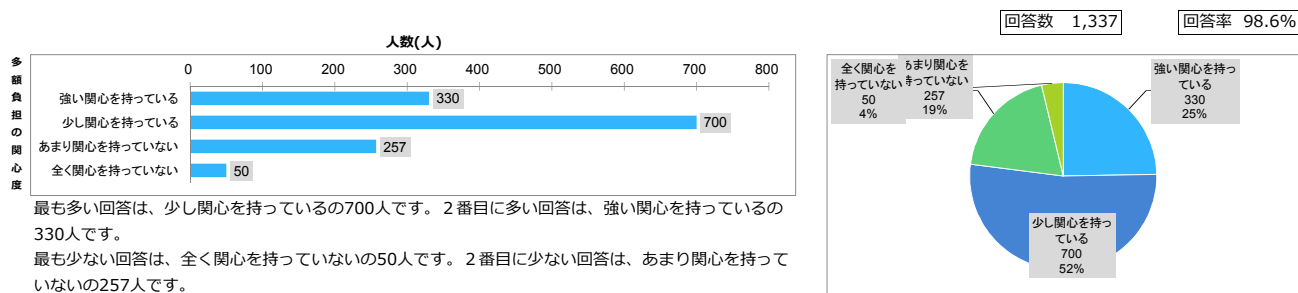
※無回答は含めておりません。

##### 地域別クロス分析

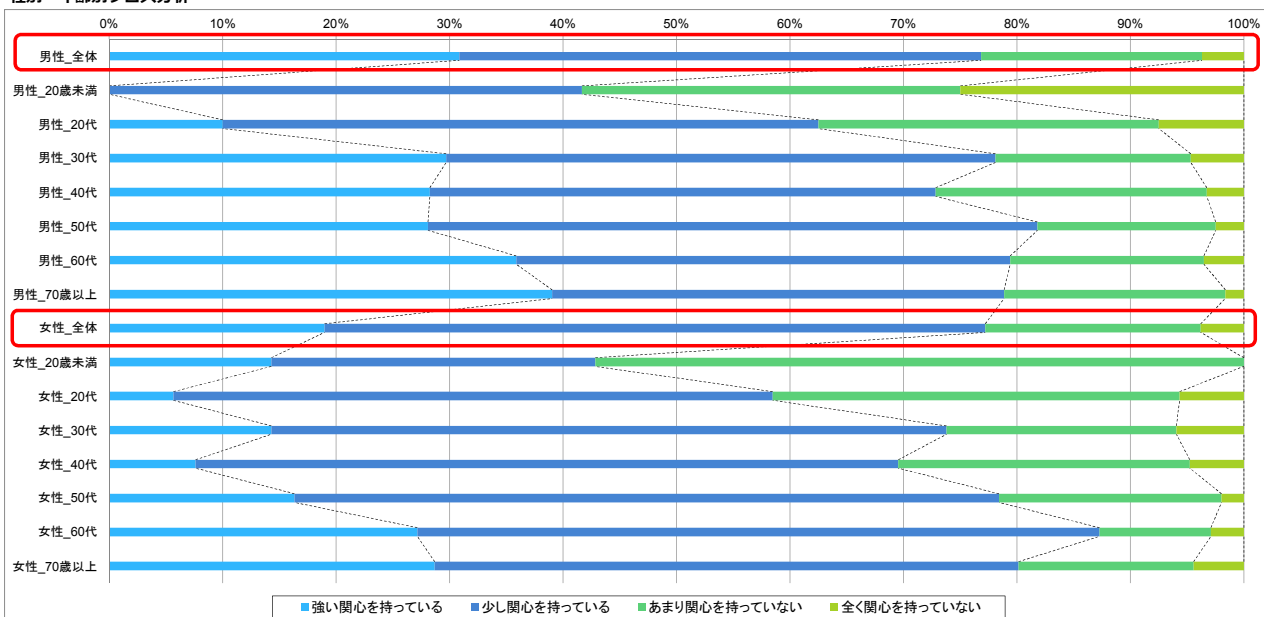


※無回答は含めておりません。

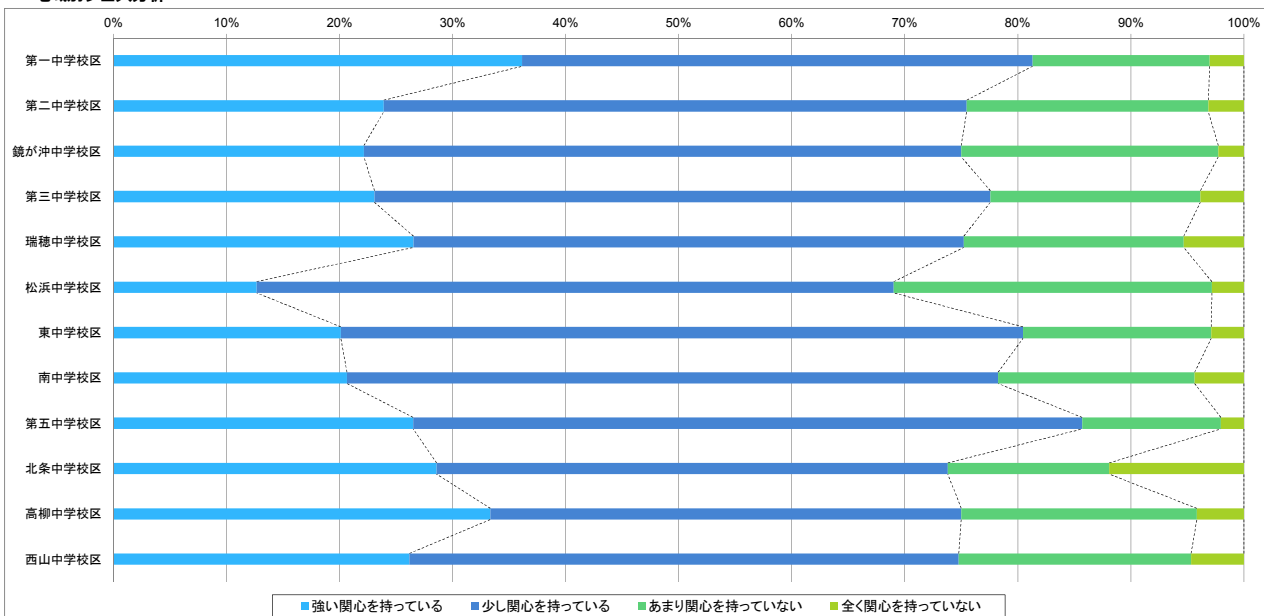
## (5) 公共施設の更新に係る財政負担への関心度



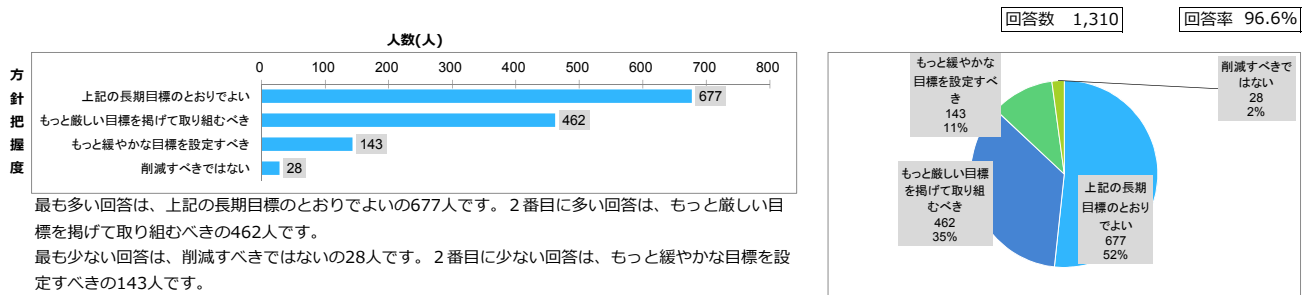
### 性別・年齢別クロス分析



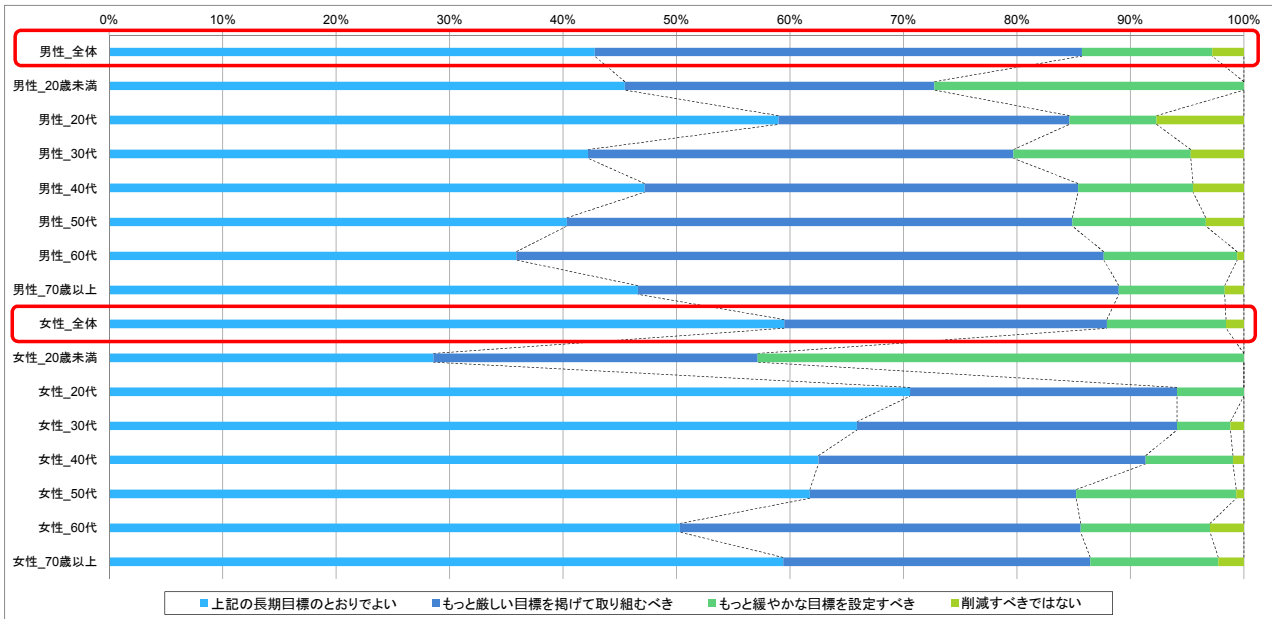
### 地域別クロス分析



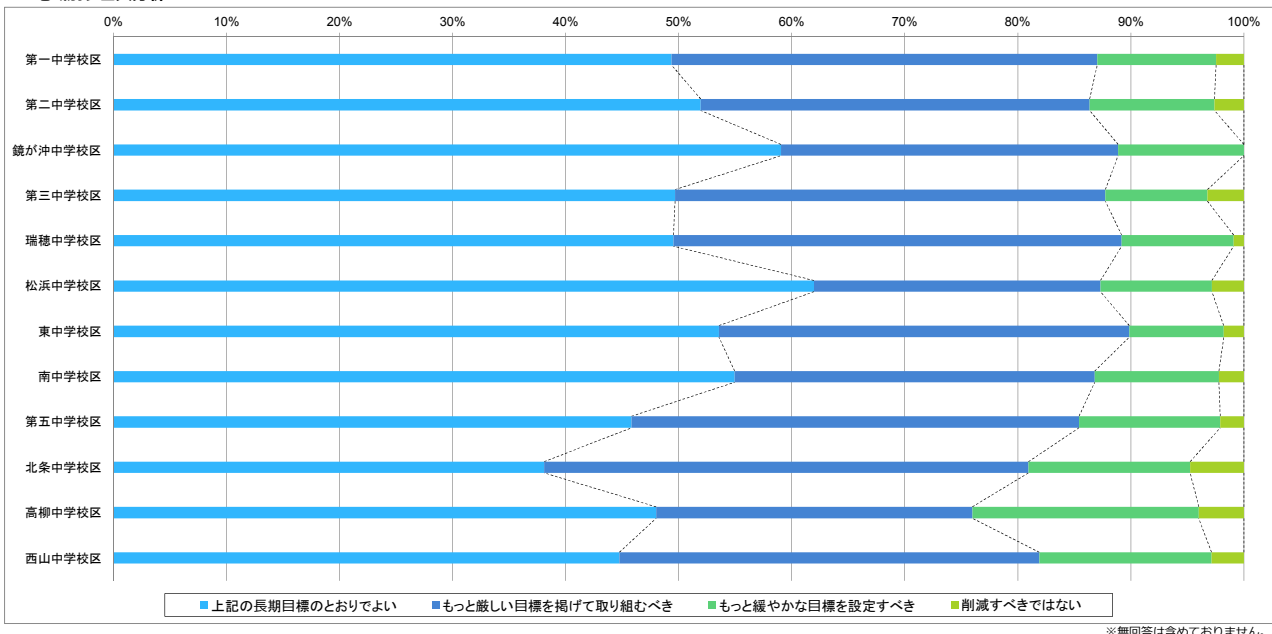
## (6) 長期目標の妥当性（今後40年間で約2割の施設総量（延床面積）を削減）



### 性別・年齢別クロス分析

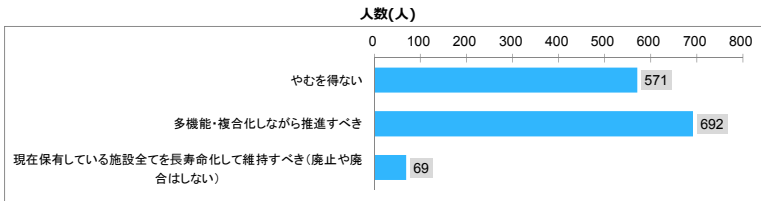


### 地域別クロス分析



## (7) 公共施設の廃止や統合に対する考え方

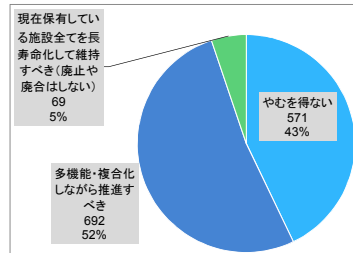
廃止等  
考え方



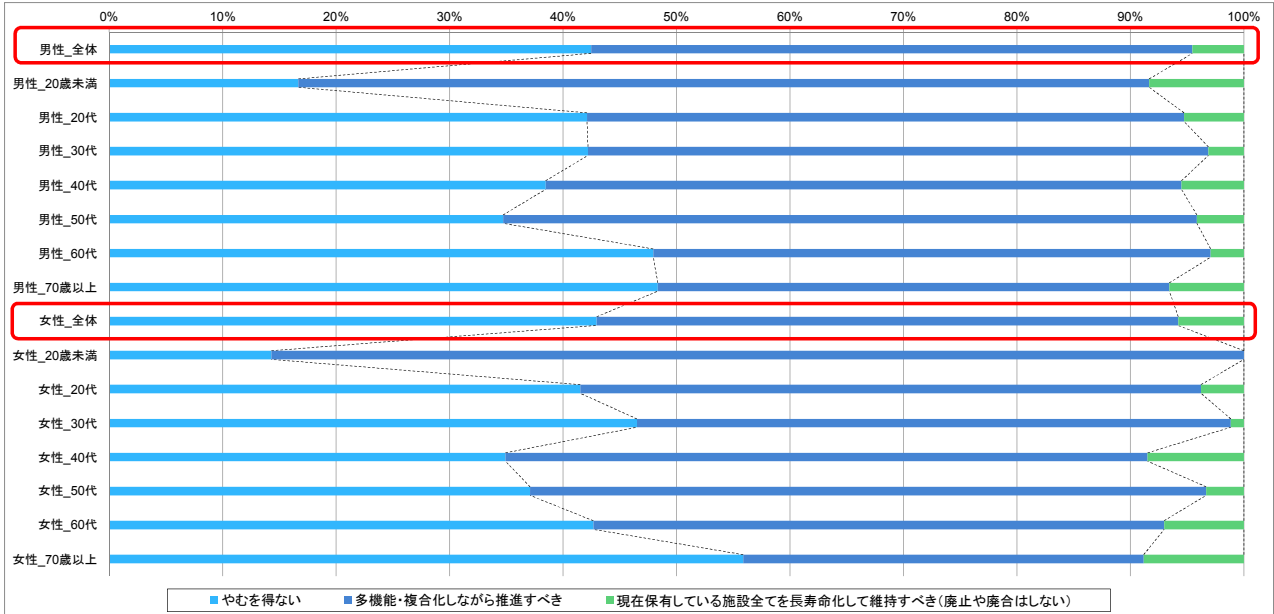
最も多い回答は、多機能・複合化しながら推進すべきの692人です。2番目に多い回答は、やむを得ないの571人です。  
最も少ない回答は、現在保有している施設全てを長寿命化して維持すべき(廃止や廃合はしない)の69人です。2番目に少ない回答は、やむを得ないの571人です。

回答数 1,332

回答率 98.2%

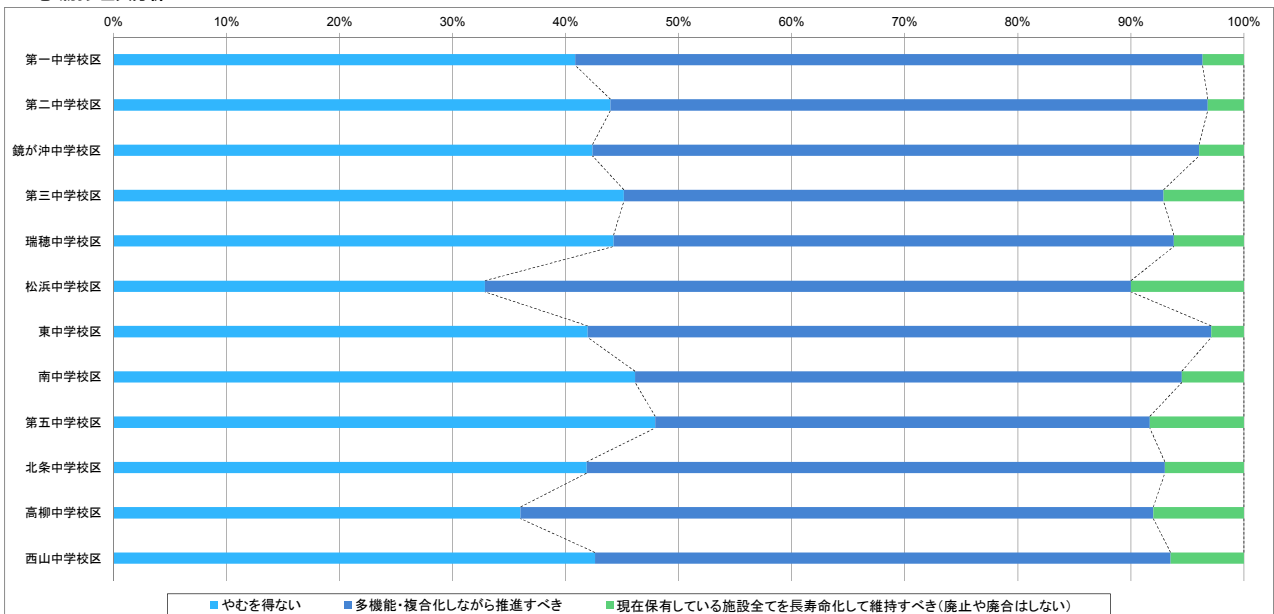


### 性別・年齢別クロス分析



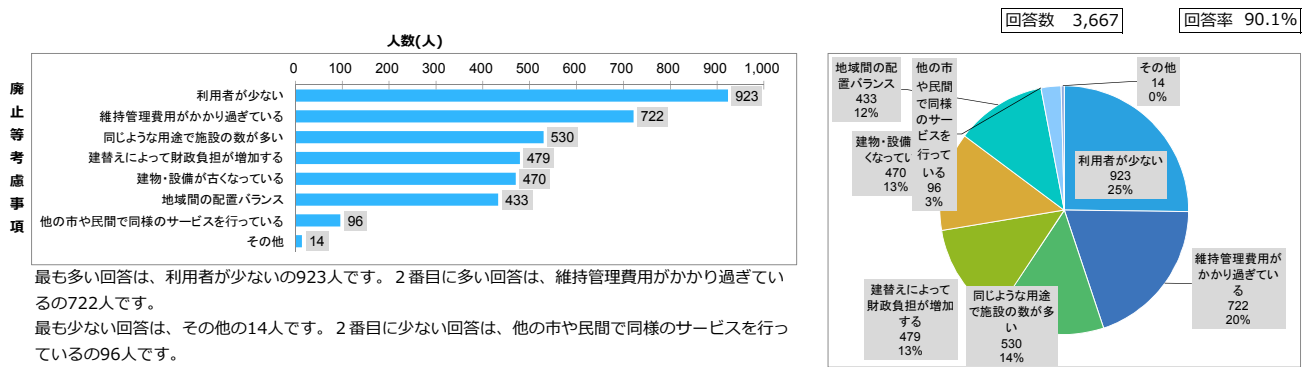
※無回答は含めておりません。

### 地域別クロス分析

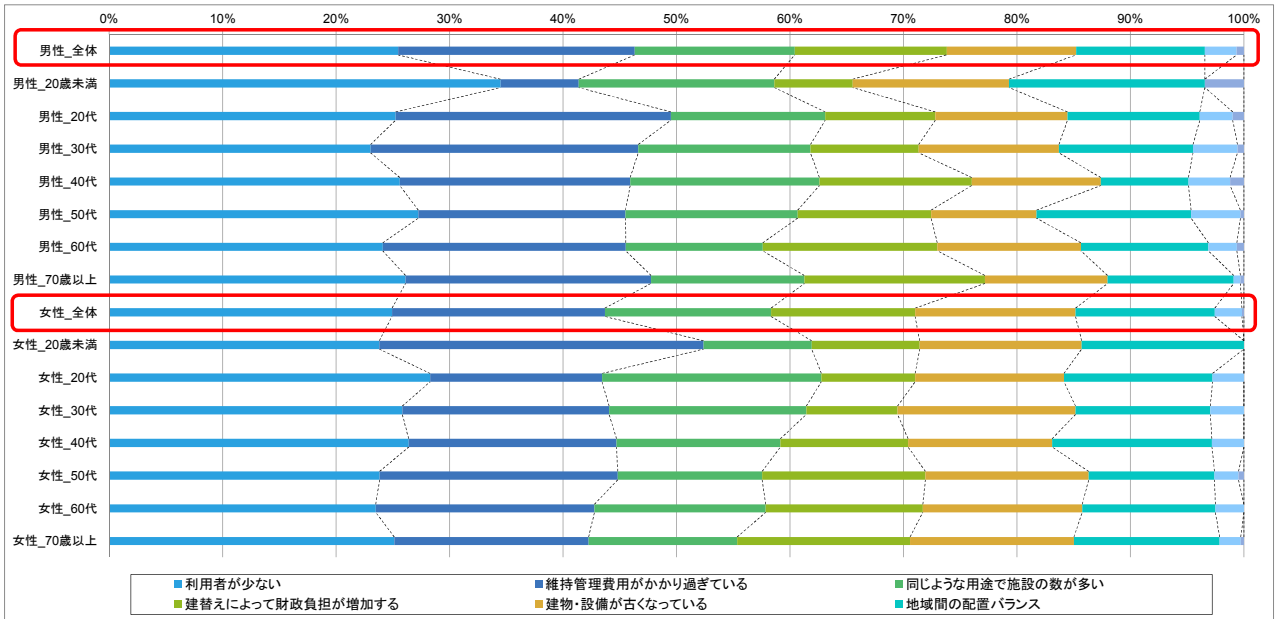


※無回答は含めておりません。

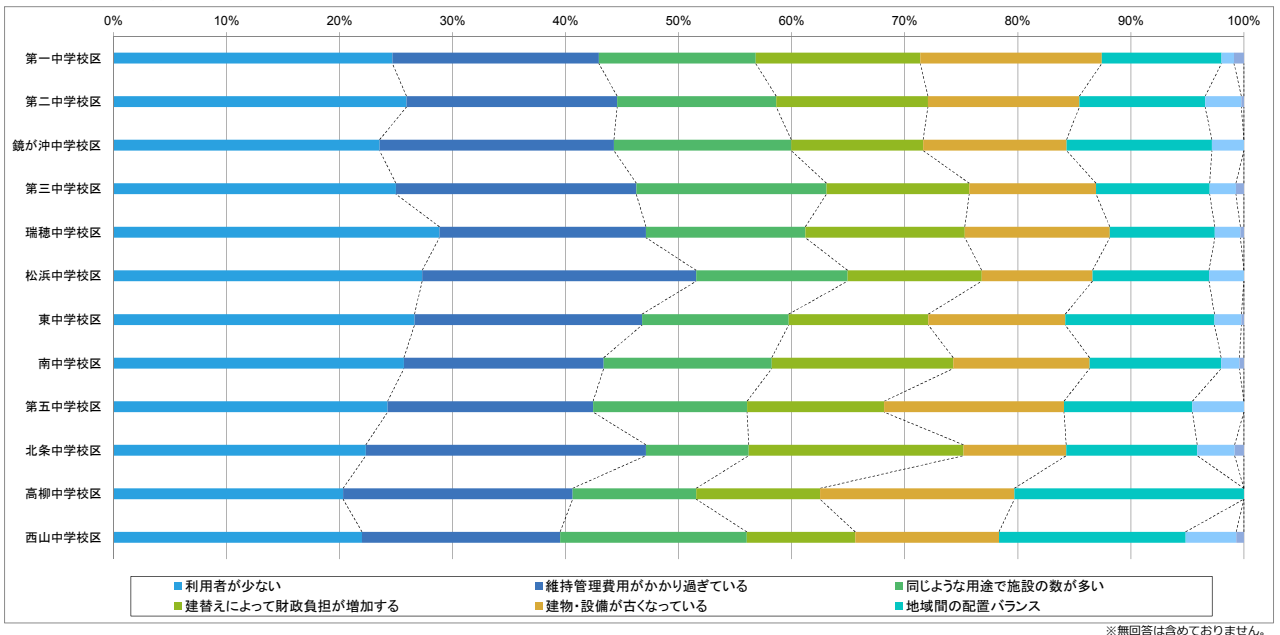
## (8) 施設の廃止や統合を行う場合に考慮した方が良い点



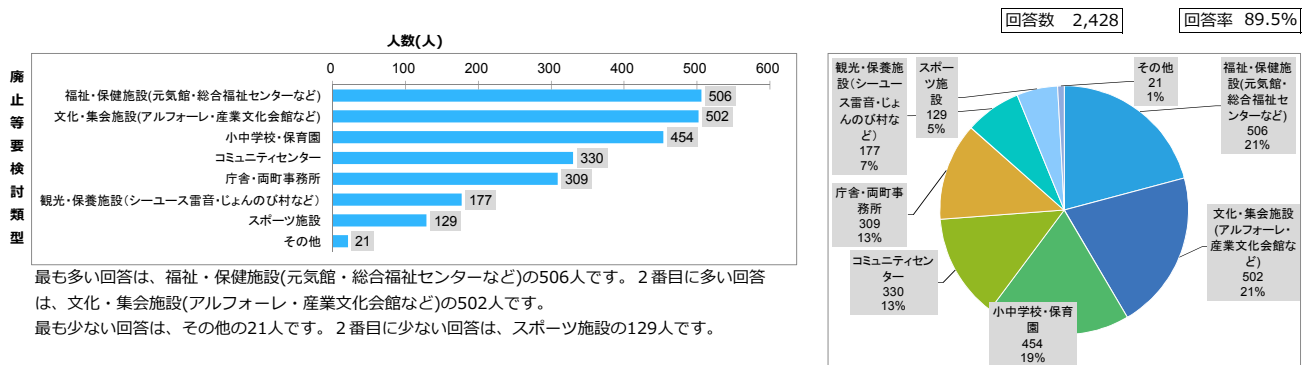
### 性別・年齢別クロス分析



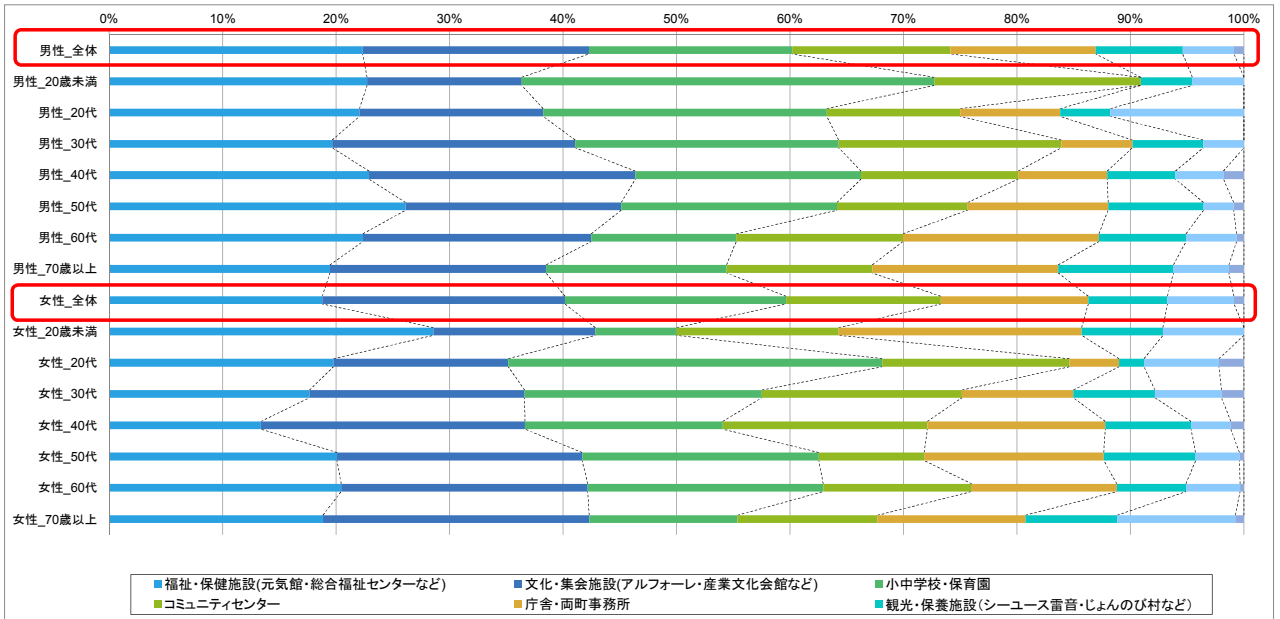
### 地域別クロス分析



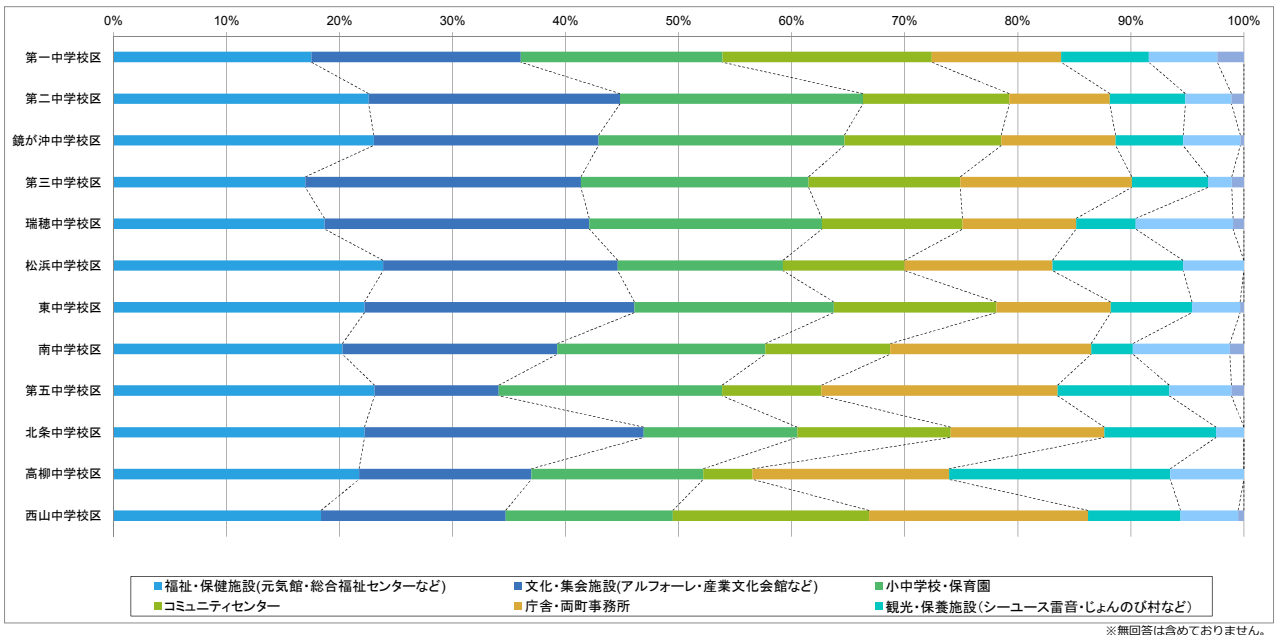
## (9) 施設の建て替え時に廃止や統合を考えた方が良いと思う施設



### 性別・年齢別クロス分析



### 地域別クロス分析

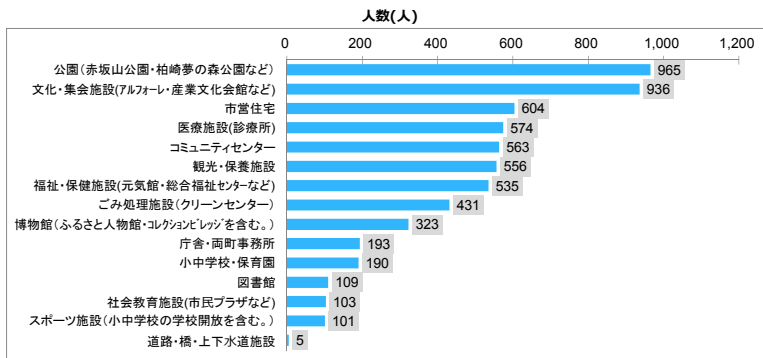


## (10) 優先的に管理運営・更新を行う必要がある施設

回答数 6,188

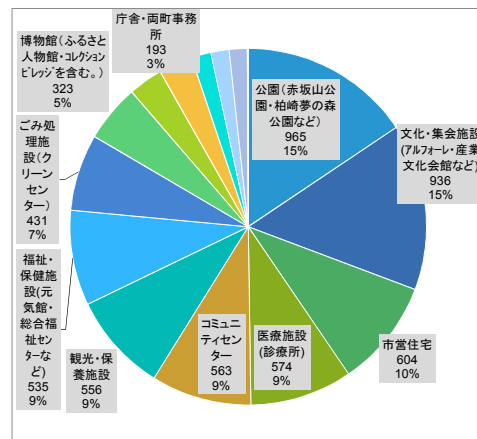
回答率 91.3%

優先着手類型

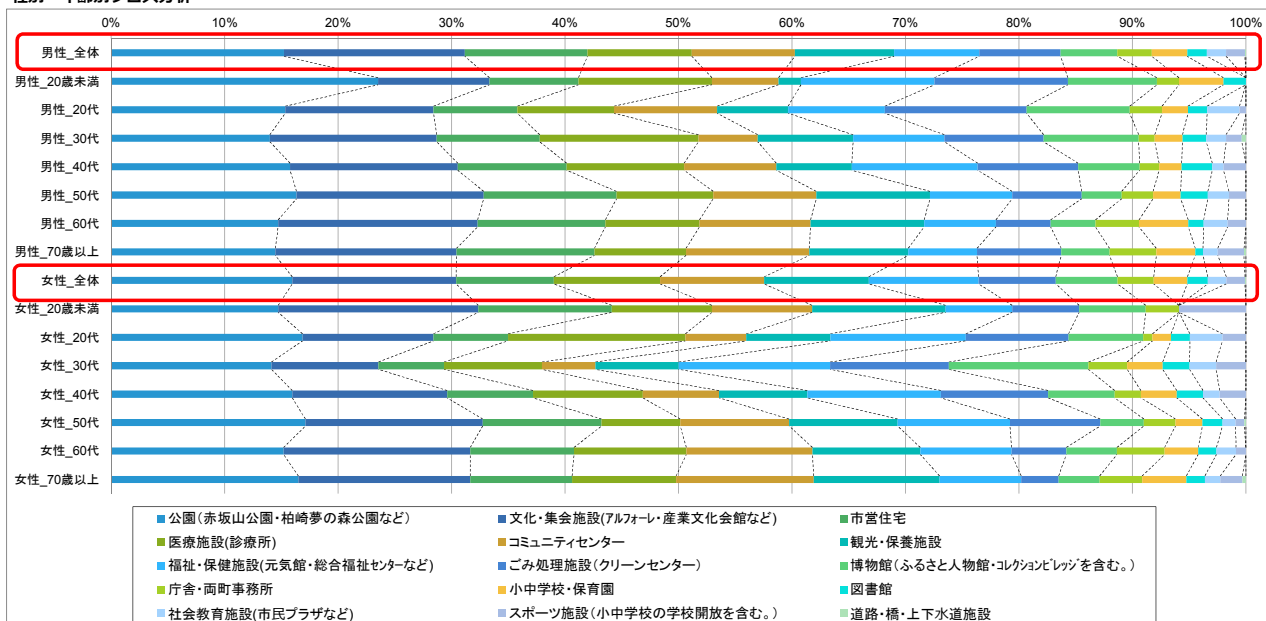


最も多い回答は、公園(赤坂山公園・柏崎夢の森公園など)の965人です。2番目に多い回答は、文化・集会施設(アルフォーレ・産業文化会館など)の936人です。

最も少ない回答は、道路・橋・上下水道施設の5人です。2番目に少ない回答は、スポーツ施設(小中学校の学校開放を含む。 )の101人です。

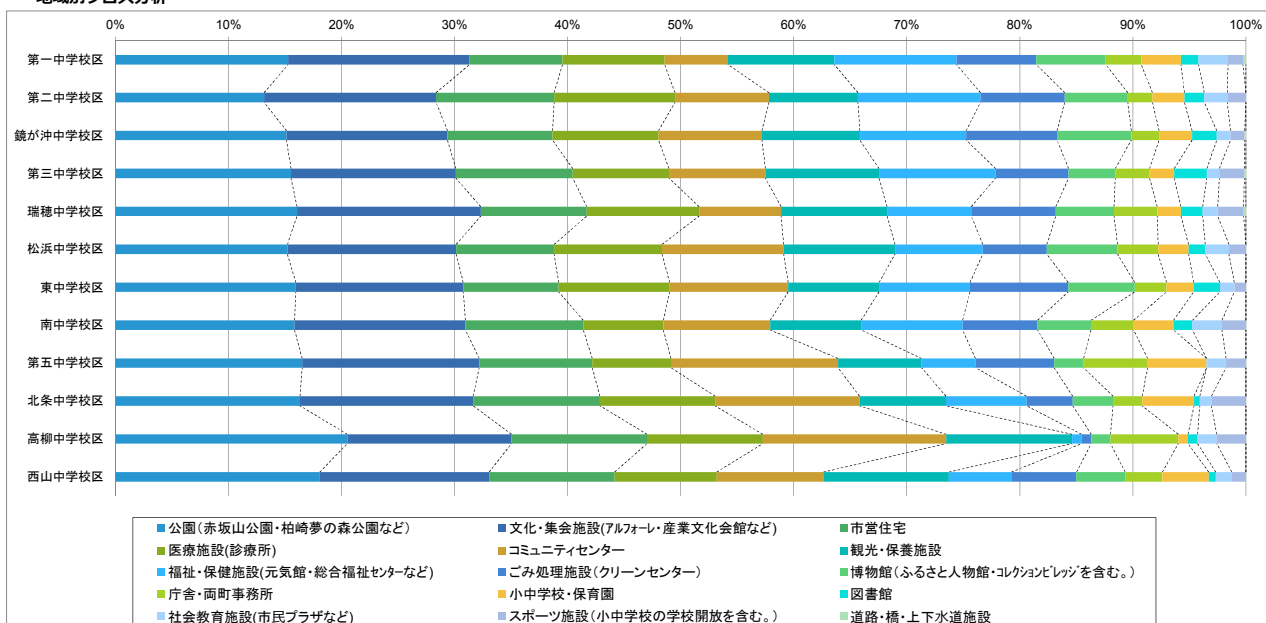


### 性別・年齢別クロス分析



※無回答は含めておりません。

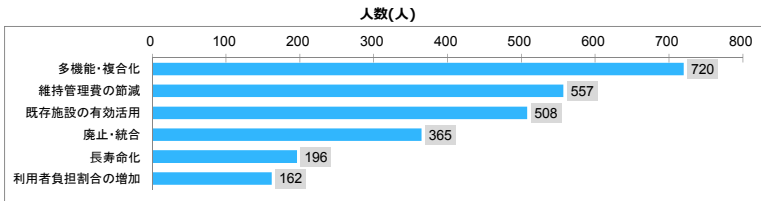
### 地域別クロス分析



※無回答は含めておりません。

# (11) 公共施設に対する取組で重要であると思うもの

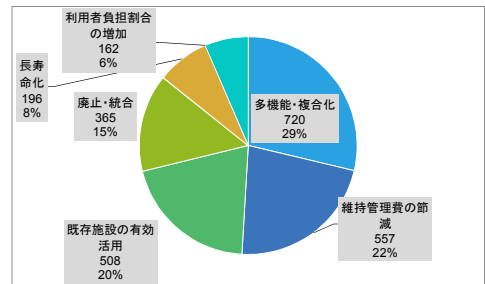
重要  
取組  
方針



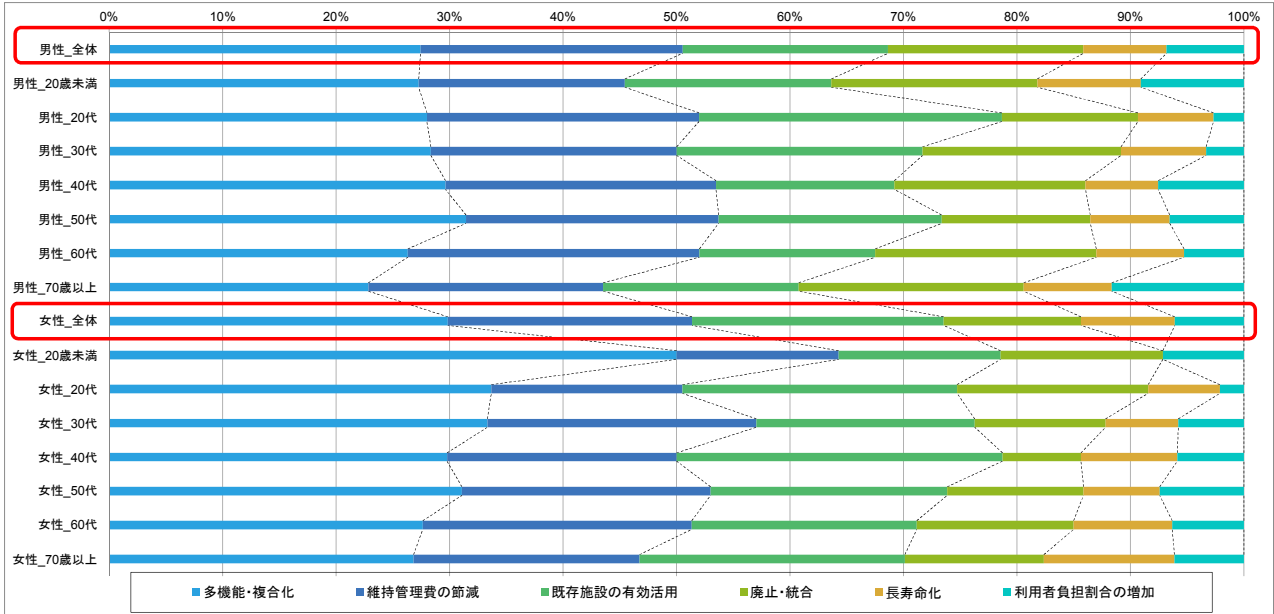
最も多い回答は、多機能・複合化の720人です。2番目に多い回答は、維持管理費の節減の557人です。  
最も少ない回答は、利用者負担割合の増加の162人です。2番目に少ない回答は、長寿命化の196人です。

回答数 2,508

回答率 92.5%



## 性別・年齢別クロス分析



## 地域別クロス分析

